

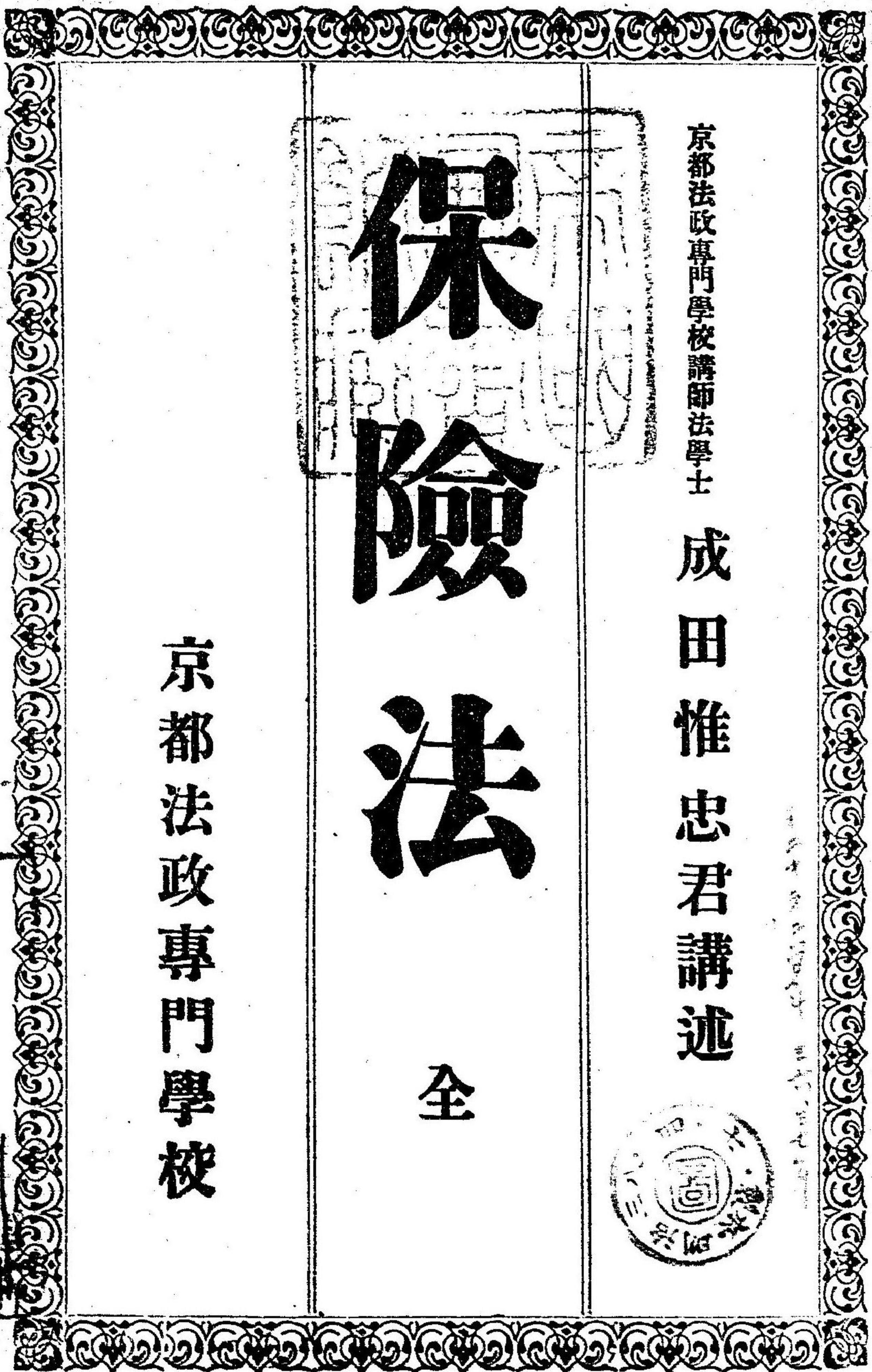
# 保險法

全

京都法政專門學校講師法學士 成田惟忠君講述



京都法政專門學校



# 保險法目次

第一章 總論	
第一節 保險契約ノ意義	一
第二節 保險契約ノ種類	九
第三節 保險契約ノ當事者	一三
第一款 保險者	一三
第二款 保險契約者	二三
第二章 各論	二三
第一節 損害保險	二三
第一款 損害保險契約ノ意義	二三
第二款 損害保險契約ノ種類	二六
第三款 損害保險契約ノ無効	二八
第一項 無効ノ事由	二九

第二項 無効ノ結果 三五

第四款 損害保險契約ノ効力 三五

第一項 保險證券ニ關スル權利義務 三六

第二項 保險料ニ關スル權利義務 三八

第三項 損害填補ニ關スル權利義務 四一

第四項 損害防止ニ關スル權利義務 四九

第五項 擔保ニ關スル權利義務 五〇

第六項 通知ニ關スル權利義務 五二

第五款 損害保險契約ノ失効 五四

第六款 損害保險契約ノ解除 五七

第二節 生命保險 六〇

第一款 生命保險契約ノ意義 六〇

第二款 生命保險契約ノ無効 六五

第一項 無効ノ事由 六六

第二項 無効ノ結果 六八

第三款 生命保險契約ノ効力 六八

第一項 保險證券ニ關スル權利義務 六九

第二項 保險料ニ關スル權利義務 七一

第三項 保險金額ニ關スル權利義務 七三

第四項 積立金ニ關スル權利義務 七七

第五項 擔保ニ關スル權利義務 八〇

第六項 通知ニ關スル權利義務 八二

第四款 生命保險契約ノ失効 八四

第五款 生命保險契約ノ解除 八六

保  
險  
法

法學士 成田 惟忠 講述

保險ニ關スル規定ハ單ニ商法第三編第十章ニ止マラスシテ亦タ同第五編第五章及ヒ保險業法ノ規定アルヲ以テ完全ナル保險法ノ講義トシテハ勿論右諸規定ノ全部ニ付キ講述セサルヘカラスト雖トモ本講義ノ範圍ハ單ニ商法第三編第十章ノ規定ノミニ制限セラレタルカ故ニ往々言ノ保險業法ニ及フコトアリトスルモ商法第五編第五章ノ規定ニ付テハ至ク其講述ヲ爲サルモノトス

第一章 總論

第一節 保險契約ノ意義

保險契約ノ定義トシテ最モ普通ニ行ハル、モノハ「エーレンベルヒ氏ノ說ニシテ

其說ニ依レハ保險契約トハ當事者ノ一方カ報酬ヲ受ケ不確定ナル經濟的損害事故ノ發生シタル場合ニ財產給付ヲ爲スコトヲ約スル獨立ノ契約ナリ同氏保險法第一卷五五頁左ニ之ヲ分説スヘシ

(一) 保險ハ契約ニ基クモノトス

保險契約モ亦他ノ契約ト等シク雙方ノ對手ヲ要スルモノニシテ其當事者ハ之ヲ保險者及ヒ保險契約者ト稱ス保險者ハ保險ノ引受ヲ爲スモノニシテ保險契約者ハ其相手方ナリ然レトモ保險契約者ト被保險者トハ之ヲ區別セサルヘカラス被保險者トハ保險契約ニ於テ保險者ノ責任ト爲リタル義務ヨリ利益ヲ受クル者ヲ云フ最モ多クノ場合ニ於テハ保險契約者ハ保險者ノ負擔スル義務ヲ自己ノ利益ノ爲メニスルコトヲ條件トスヘキモノナルカ故ニ最モ多クノ場合ニ於テハ保險契約者ト被保險者トハ同一ノ人ナルヘシト雖トモ保險契約者カ第三者ノ爲メニ保險契約ヲ締結スル場合モ亦稀少ナラス此等ノ場合ニ於テハ保險契約者ハ被保險者ニ非スシテ被保險者ハ第三者ナリ

(二) 保險契約ハ當事者ノ一方カ報酬ヲ與フルコトヲ約スルモノナルコトヲ要ス

(三)

當事者ノ一方即チ保險契約者ハ報酬即チ保險料ヲ支拂フコトヲ約セサルヘカラス保險料支拂ノ義務ハ保險者ヨリ現實ニ財產ノ給付ヲ受クル代リニ報酬ヲ與フルカ爲メニ存スルモノニシテ保險者カ財產給付ヲ爲サ、ルヘカラスナルノ危險引受ノ代償ヲ與フルカ爲メニ存スルモノナリ從テ保險ノ最モ多クノ種類ニ於テハ保險料支拂ノ義務ハ全ク確定シタルモノニシテ且被保險事故ノ現實ニ發生スヘキヤ或ハ其何時ニ發生スヘキヤニハ全ク何等ノ關係ナキモノトス

(三) 保險契約ハ當事者ノ一方カ財產給付ヲ爲スコトヲ約スルモノナルコトヲ要ス

當事者ノ一方即チ保險者ハ被保險事故ノ發生ニ際シ被保險者ニ財產給付ヲ爲スコトヲ約セサルヘカラス保險者カ給付スヘキ財產ハ之ヲ保險金ト稱ス蓋シ通常金錢ヲ以テ之ヲ支拂フニ因ル然レトモ其給付スヘキ財產ハ必スシモ金錢ニ限ルニ在ラス

(四) 保險者カ爲ス財產給付ハ不確實ナル經濟的損害事故ノ發生ニ繫ルコトヲ要ス

不確定ナル事故トハ一般ニ發生スヘキモノナルヤ否ヤノ不確定ナル事故(舊商法ニ所謂不測ノ事故)及ヒ其發生ノ時期ノ不確定ナル事故(舊商法ニ所謂不確定ノ事故)ヲ包含スルモノニシテ之ヲ稱シテ被保險事故ト云フ故ニ被保險事故ノ發生其モノ、不確定ナル場合ニハ保險者ノ財產給付ハ條件附ニシテ被保險事故ノ發生ノ時期ノ不確定ナル場合ニハ保險者ノ財產給付ハ期限附ナリ然レトモ之ヲ以テ直チニ保險契約ハ條件附契約ナリト爲スヘカラス右ニ條件附若クハ期限附ナリト云ヘルハ只保險者ノ財產給付ノ點ニ關シテノミ之ヲ言フモノニシテ保險契約其モノニ付テ云ヘルニ非ラス保險契約ノ成立ト同時ニ其効力ヲ發生スルモノニシテ條件附ニ非ラス被保險事故ハ不確定ナルコトヲ要スルノミナラス亦必ス經濟的損害ヲ隱起スヘキモノナルコトヲ要ス從テ其損害ノ生スルカ爲メニハ其反面ニ經濟的利益存セサルヘカラス此利益ヲ被保險利益ト云ヒ又保險ノ目的ト云フ而シテ此被保險利益カ被保險事故ニ因リテ損害ヲ生スルコトアルヘキ運命ヲ稱

(四)

(五)

シテ危險又ハ保險者ノ負擔スヘキ危險ト云ヒ或利益ヲ被保險利益ト爲スコト即チ保險ノ目的ト爲スコトヲ稱シテ或利益ヲ保險ニ付スト云フ

(五) 保險契約ハ一ノ獨立ノ契約ナルコトヲ要ス

保險契約ハ獨立シテ之ヲ締結セサルヘカラス單ニ他ノ契約ニ從タル契約トシテ附加スルコトヲ得ス請負契約ニ於テハ屢保險契約類似ノ約款ヲ有スルコトアリ即チ運送人ハ其運送契約ニ於テ通常ノ義務ヲ超過シテ不確定ナル事故即チ運送品ノ滅失等ニ對シテ責任ヲ引受クルコトアリ然レトモ之レ請負契約ノ附從ノ契約ニシテ保險契約ニ非サルナリ

右ノ定義ニ依ルトキハ保險ハ總テ損害保險ニシテ損害保險以外ニハ純然タル保險ナキモノト謂ハサルヘカラス此ノ定義ハ我商法ニ於ケル一般ノ保險ニ付テモ亦之ヲ採用スルコトヲ得ヘキカ

我商法ハ其第三編第十章保險ヲ二節ニ分チ第一節ヲ損害保險トシ第二節ニ生命保險ヲ規定シタリ故ニ其體裁上ヨリ之ヲ觀察スレハ保險ヲ損害保險及ヒ生命保險ニ二大別シタルモノ、如シト雖トモ商法草案理由書(三五六頁)ニハ「生命保險中

ニハ死亡保險、生存保險、及ヒ生命年金ノ三者ヲ包含セシム而シテ病傷保險ヲ除外セルハ勿論之ヲ禁止スルノ意思ニアラス現今我國ニ之ヲ行フモノ殆ント絶無ナレハ暫ク之カ規定ヲ設クルヲ止メテ實際保險ノ原則ト當事者間ノ特約トニ讓リタリトアリテ損害保險及ヒ生命保險ヲ以テ保險ノ二大別ナリト解スヘカヲサルト共ニ同理由書(三一九頁)ニハ「生命保險ハ他ノ保險ト同シク純然タル保險ノ一種ニ屬スルヤ否ヤハ學說上爭アル所ナルヲ以テ本案ハ進ンテ此學說上ノ爭議ヲ裁決スルノ冒險ヲ斷行セスシテ之ヲ學說ノ將來ニ一任シ唯々本章ニ於テハ性質ノ異ル二種ノ保險ヲ個々ニ規定スルノ便宜ニシテ且正當ナルヲ確信スト説明シテ保險ハ損害保險ニ限ルヤ否ヤヲ明示セサルカ故ニ保險ハ損害保險ニ限ルモノナルヤ或ハ損害保險以外ニ尙ホ一ノ保險ナルモノ存在スルヤ否ヤハ俄カニ之ヲ決スルコト能ハスト雖トモ唯々本章ニ於テハ性質ノ異ル二種ノ保險ヲ個々ニ規定ス云々」ノ説明ニ徵スレハ少クトモ立法ノ精神ニ於テハ保險ニハ損害保險以外ニ之ト性質ノ異リタル保險ノ存在スルコトヲ前提トシタルモノナルコトヲ想像スルモ敢テ不當ニ非サルヘシ若シ然ラハ我商法ニ於テハ「コヤツク」氏ノ云ヘルカ

如ク保險トハ一定ノ不確定事故ノ發生シタル場合ニ或金額ヲ要求スルコトニ付キ利益ヲ有スル所ノ者ニ直接或ハ間接ニ其權利ヲ與フル所ノモノナリ(同氏獨乙商法論第六板六九二頁)ト云フヲ以テ保險ノ一般ノ意義ヲ言ヒ現ハシタルモノナリト爲スヘキニ似タリ氏ハ保險契約ヲ損害保險ト定額保險トニ分類シ而シテ生命保險カ純然タル保險ナルヤ否ヤニ論及シテ曰ク定額保險就中其重要ノ場合タル生命保險ノ法律上ノ存在ニ付テハ甚ダ爭アル所ニシテ其爭ノ生スル所以ハ蓋シ總テ保險ハ「經濟的損害」ヲ懸起ス所ノ事故ニ關係セサルヘカラス從テ保險ノ目的ハ必ス其事故ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ナラサルヘカラストノ廣ク行ハルル說ニ基因スルモノナリ然ルニ此說ノ結果トシテハ全ク二ノ反對說ヲ生スルニ至レリ

- (一) 生命保險ハ經濟的損害ヲ懸起ス所ノ事故ニ關係セス又損害賠償ヲ爲サス故ニ生命保險ハ真正ノ保險ニ非スシテ唯射倖的消費貸借或ハ特別ノ貯金契約ニ過キストノ說

- (二) 生命保險ハ真正ノ保險ナリ故ニ總テノ他ノ保險ニ於ケルカ如ク經濟的損害

ヲ隱起ス所ノ事故ニ關係スルモノト解釋セサルヘカラサルノミナラス實際ニ於テモ生命保險ニテ保險金額要求ノ關係スル所ノ事故ハ經濟的損害ナリ何トナレハ此ノ事故ハ人ノ取得シ若クハ貯蓄シタル所ノ財産ヲ無用ニ歸セシムル所ノ死亡ナルカ或ハ人ノ取得若クハ貯蓄力ヲ少クトモ減少シ或ハ其生活需要ヲ増加セシムル所ノ一定年齢ノ到達等ナレハナリ故ニ此等ノ場合ニ於ケル保險金額ハ之ヲ死亡或ハ一定年齢ノ到達ニヨリテ當事者ニ生スル所ノ損害賠償ト看做スヘキモノナリ只其損害ノ額ハ計算ニ依リ確定セラレ能ハサルカ故ニ損害賠償ノ範圍ヲ豫メ契約ニテ定ムルコトヲ當事者ニ許シタルノミト爲スノ説、

然レトモ此第二ノ見解ハ實ニ窮シタル解釋ト云ハサルヘカラス此見解ハ金錢ヲ支出スレハ其結果利益ヲ生シ其失費ト利益ト甚タ長ク平均セラレ能フヘキモノナルコト及ヒ實際屢々平均セラレタリシコトヲ忘却シ金錢ノ支出ヲ要スル事故ハ總テ經濟的損害ヲ隱起スモノナリト爲ス所ノ實ニ稀ナル者ニ基クモノナルヘク此見解ノ結果トシテハ一般ニ總テ人間ノ生活ハ經濟的ノ大損害タルノ外何ノ

功能モナキモノナリト云フニ至リ結局經濟上ニテハ寧ロ人間ハ全ク生マレザリシヲ以テ優レリト爲スニ至ルヘシ而シテ又實際ノ損害額以上ノ金額ヲ自由ニ獨斷ニテ定メ得ル所ノ「損害賠償」ハ事實上ノ損害賠償ニ非サルコトハ別ニ證明ヲ要セサルノミナラス亦實ニ保險者ニ於テモ保險契約者ニ於テモ保險金額ヲ確定スルニ當リ保險契約者又ハ其殘存者ノ被テントスル損害ニ關係シテ其金額ヲ定メントスルノ考ハ毫モ存セサル所ナリ右ノ爭ハ吾人ノ解釋スル保險ノ意義ニ從ヘハ簡單ニ之ヲ避クルコトヲ得ヘシ吾人ノ解スル所ニ依レハ保險トハ一定ノ不確定事故ノ發生シタル場合ニ或金額ヲ要求スルコトニ付キ利益ヲ有スル所ノ者ニ直接或ハ間接ニ其權利ヲ與フル所ノモノナリ保險ハ假令其方法ヲ異ニスト雖トモ猶ホ損害保險ニ於ケルカ如ク定額保險ニ於テモ亦明カニ此目的ヲ達スルモノナリ故ニ此二ノ法律行爲ハ共ニ等シク保險意義ノ下ニ立ツヘク唯此意義ノ二大區別トシテ之ヲ認ムヘキノミト

## 第二節 保險契約ノ種類



保險契約ハ種々ノ標準ニ依リ之ヲ分類スルコトヲ得ヘシト雖トモ茲ニハ只其重ナルモノヲ擧クルニ止ムヘシ

第一、損害保險及ヒ定額保險、

損害保險ニ於テハ保險契約ニ依リ利益ヲ受クル所ノ人ニ特別ノ財産上ノ損害ヲ生スル所ノ事故ヲ被保險事故トシ定額保險ニ在リテハ他ノ種類ノ事故即チ保險利益者ニ財産上ノ損害ヲ全ク生セサルカ或ハ保險利益者ノ財産上ノ地位ニ一般ニ危險ヲ及ホス所ノ事故ヲ被保險事故トスルモノニシテ兩者ノ主タル區別ハ損害保險ニ於テハ原則トシテ保險利益者ニ其被保險事故ニ依リテ蒙リタル損失ノ代リニ專ラ損害賠償ヲ得セシムルモノナルニ反シ定額保險ニ在リテハ保險利益者ニ任意ニ定メタル金額ヲ支拂フニ在リトス

損害保險ニ屬スルモノハ建築物火災保險、家財火災保險、穀蠶保險、家畜疾病死亡保險、玻璃破損保險、盜難保險、國內運送保險、荷送人、荷受人、運送人、傭船者等カ陸上及ヒ國內水面ニ於ケル運送取引ニ於テ生シタル災害ヨリ招キタル損害保險又ハ海上保險、荷送人、荷受人、傭船者等カ海上ニ於ケル運送取引ニ於テ生シタル災

害ヨリ招キタル損害保險、信用保險、質權者又ハ其他ノ債權者カ其債務者ノ支拂無能力ナルコト及ヒ設定セラレタル擔保ノ不足ナルコトニヨリテ受クル所ノ損害保險、責任保險(家屋ノ占有者製造家等カ其家屋ノ内外ニ於テ其製造場ノ事業中ニ第三者ニ對シテ生シタル災害ニ付キテ責任ヲ負フコトニ依リ生スル損害保險)、再保險(保險者カ第三者ト締結シタル保險契約ニ於ケル被保險事故ノ發生ニ依リ自ラ第三者ニ保險金額ヲ支拂フノ必要アルコトニ依リ自ラ受クル所ノ損失保險)、シテ定額保險ニ屬スルモノハ生命保險、不幸保險、疾病保險等ナリ而シテ生命保險ニハ死亡生命保險、保險契約者或ハ第三者ノ死亡シタルトキ保險金額ヲ支拂フヘキモノ、生存生命保險(1)保險金額ハ年金ニシテ保險契約者或ハ第三者ニ其生存スル間ニ支拂ハルヘキ年金保險、(2)保險金額ハ年金或ハ資本ニシテ保險契約者或ハ第三者ニ其一定ノ壯年ニ達シタルトキニ支拂ハルヘキ養老保險或ハ結婚及徵兵保險或ハ一定ノ高年ニ達シタルトキニ支拂ハルヘキ廢人保險及ヒ殘存生命保險、保險金額ハ年金或ハ資本ニシテ保險契約者或ハ第三者カ死亡シ察

婦或ハ孤兒ノ殘存スルトキニ支拂ハルヘキ寡婦及孤兒保險等ノ細則アリ

### 第二 相互保險及ヒ營業保險

相互保險契約ニ於テハ保險契約者ノ計算ニ於テ管理スル所ノ會社ヲ組織シ而シテ此會社ニ關係ヲ有スル各保險契約者ハ經濟上ノ結果ニ於テハ自己ノ保險者ニシテ又同時ニ會社ノ費用ヲ負擔シ其利益ノ配當ニ與カル所ノモノナリ然レトモ之ニ反シテ營業保險ニ於テハ自己ノ計算ニ於テ營山所ノ企業家カ保險者タルモノナルカ故ニ保險契約者及ヒ保險者ノ利益ハ互ニ相反對シ從テ保險契約者ハ保險料ノ外ニ保險者ノ費用ヲ負擔スルコトナク亦其利益ノ配當ニ與カルコトナキモノトス故ニ其結果トシテ事業ノ成績良好ナルトキハ保險契約者ニハ營業保險ハ相互保險ヨリモ不利益ナリ何トナレハ營業保險ニ於テハ保險契約者カ支拂フヘキ保險料ハ保險者ニ著シキ利益ヲ生セシムルカ如クニ計算セラレタルモ之ニ反シテ相互保險ニ於テハ保險契約者ハ只保險會社ノ必要ノ費用ヲ支出スルニ要スルモノ、ミチ支拂フコトヲ要シ其拂ヒ過キタル分ハ後ニ配當トシテ拂戻サル、モノナレハナリ然レトモ事業ノ成績不良ナルトキハ保

險契約者ニハ營業保險ハ相互保險ヨリモ利益ナリ何トナレハ營業保險ニ於テハ保險契約者ハ事業成績不良ナルモ苦痛ヲ感スルモノニアラス即チ其保險料ヲ増加セラル、コトナク亦其受クヘキ保險金額ヲ減少セラルコトナク不幸ハ只保險者ニ於テ負擔スヘキモノナルニ反シテ相互保險ニ於テハ保險ハ保險契約者ノ計算ニ於テ爲サレタルカ故ニ不幸ハ各自ニ負擔セサルヘカラス從テ保險契約者ハ其餘出額ヲ増加スルカ或ハ受クヘキ保險金額ヲ減少セシメサルヘカラサレハナリ

現今ニ於テハ營業保險及ヒ相互保險ノ外ニ於テ尙ホ其兩者ヲ混合シタルモノヲ生シタリ即チ自己ノ計算ニ於テ營山所ノ保險者カ其利益ノ一部ヲ保險契約者ニ配當スルノ義務ヲ負フモノ是レナリ

### 第三節 保險契約ノ當事者

#### 第一款 保險者

(一) 保險者ハ危險ノ數學的統計的計算ニ基キテ保險契約ヲ締結スルモノニシテ而

シテ危險ノ計算ハ各個單獨ノ保險ニ於テハ之ヲ爲スコト困難ニシテ只大事業トシテ保險ノ引受ヲ爲ス場合ニ於テノミ現實ニ信用セラルヘキモノナルヲ以テ保險者ハ大事業トシテ保險ノ引受ヲ爲スヲ通例トセリ蓋シ單獨ノ保險ニ於テハ保險者ハ只同種ノ保險ニ於テ知り得タル所ノ平均危險ノミヲ計算シ得ルニ過キスシテ其保險ノ結果カ現實ニ危險ノ平均ニ恰當セラルヘキコトハ全ク獨斷的想像タルヲ以テ單獨保險ハ實ニ大ナル冒險事業ナリト雖トモ之ニ反シテ同一ノ保險者カ同種ノ保險ヲ大ナル範圍ニ於テ引受クルトキハ一方ニ於テハ平均以上ニ保險者ノ利益ト爲ルヘキ事故ノ發生ト他方ニ於テハ平均以上ニ不利益ト爲ルヘキ事故ノ發生トヲ平均セシメ保險者ノ事業ノ大ナルニ從テ益々其平均線ニ近クニ至ルヘク一ノ營業年度ノ非常ナル利益若クハ不利益ハ其次年度ノ不利益若クハ利益ヲ以テ平均セラル、ニ至ルモノナレハナリ故ニ我保險業法第二條ハ保險事業ハ株式會社又ハ相互會社ニ非サレハ之ヲ營ムコトヲ得サルモノトセリ而シテ保險事業ハ會社中殊ニ株式會社又ハ相互會社ニ於テノミ之ヲ爲シ得ヘキモノト規定シタル所以ハ蓋シ相互會社ハ被保險者ノ團

體カ同時ニ會社ヲ組織スルモノナレハ保險者タルニ適スルコトハ多言ヲ要セサル所ニシテ又保險者ノ永久的ノ責任ヲ盡クシ其信用ヲ維持シ得ヘキモノハ確定ニシテ永久ナル財産ニ外ナラサレハ株式會社ノ如キ資本團體ハ之ニ適シタルモノナリト謂フヘキモ之ニ反シテ合名會社及ヒ合資會社ノ如キ人的信用ニ基クモノニシテ社員ノ變動ニヨリ會社ノ盛衰ヲ異ニスヘキモノハ保險者タルニ適セサレハナリ

(二) 保險會社ハ主務官廳ノ免許ヲ受クルニ非サレハ保險事業ヲ營ムコトヲ得ス若シ此規定ニ違反シ官廳ノ免許ヲ得スシテ保險事業ヲ營ム者ハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處セラルヘシ而シテ損害保險ヲ目的トスル會社カ免許ヲ申請スルニハ定款事業方法書普通保險約款保險料及ヒ責任準備金算出ノ基礎ニ關スル書類ヲ添付スルコトヲ要シ生命保險ヲ目的トスル會社カ免許ヲ申請スルニハ右ノ書類ノ外尚ホ責任準備金利用ノ方法ヲ記載シタル書類ヲ添付スルコトヲ要シ又右ノ書類ヲ變更スルニハ主務官廳ノ認可ヲ得ルコトヲ要スルモノトス

(保險業法一九七、五、六、八條)

(イ) 株式會社ノ定款ニハ商法第二百二十條第二號乃至第八號ニ掲ケタル事項ノ外保險ノ種類及ヒ營業ノ範圍並ニ設立費用償却ノ方法ヲ記載スルコトヲ要シ相互會社ノ定款ハ保險ノ種類及ヒ事業ノ範圍名稱事務所所在地基金ノ總額基金ノ釀出者カ有スヘキ權利社員ノ責任ノ種類基金及ヒ設立費用ノ償却ノ方法剩餘金分配ノ方法會社カ公告ヲ爲ス方法並ニ存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其時期又ハ事由ヲ記載シテ發起人之ヲ署名シ又ハ記名捺印スルコトヲ要ス(保險業法一四二六條)

(ロ) 普通保險約款ニハ保險會社カ保險金額ノ支拂ヲ爲スヘキ事由保險契約無効ノ原因保險會社カ其義務ヲ免ルヘキ事由保險會社ノ義務ノ範圍ヲ定ムル方法及ヒ其義務履行ノ時期保險契約者又ハ被保險者カ其義務不履行ノ爲メニ受クヘキ損失保險契約ノ全部又ハ一部ノ解除ノ原因及ヒ其解除ノ場合ニ於テ當事者ノ有スル權利義務保險契約者被保險者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ利益又ハ剩餘金ノ分配ニ與カル權利ノ有無及ヒ範圍ヲ定ムルコトヲ要ス(保險業法七條)

(ハ) 責任準備金トハ保險會社カ保險金支拂ノ義務ヲ履行スルカ爲メニ積立タル金額ニシテ之ニ二種アリ一ハ未經過保險料ニシテ他ノ一ハ保險料積立金ナリ未經過保險料トハ未タ經過セサル保險期間ニ對スル保險料ニシテ會社ノ決算ニ入ルヘカラサルモノニシテ保險料積立金トハ將來支拂フヘキ保險金額ヨリ將來受取ルヘキ保險料ヲ差引キタル殘餘ノ金額ヲ云フ責任準備金ハ商法ニ所謂被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ナルカ故ニ生命保險ニ在リテハ保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ之ニ付キ會社財産ノ上ニ優先權ヲ有スルモノトス(保險業法施行規則一五條保險業法九六條)

(三) 保險會社ハ他ノ事業ヲ兼ヌルコトヲ得ス同一ノ會社ニシテ生命保險ト損害保險トヲ併セテ其目的ト爲スコトヲ得サルモノトス(保險業法三四條蓋シ保險會社ノ財産ハ其被保險者ニ對スル保險金支拂ノ擔保ナルモノナレハ之ヲ他ノ事業ニ流用シ被保險者ニ損害ヲ來タスコトナカラシメカ爲メ保險事業ト他ノ事業トノ兼營ヲ許サス殊ニ生命保險ハ其組織及ヒ結果ニ於テ大ニ他ノ保險ト

異ル所アルヲ以テ之ヲ他ノ保險ト兼營スルコトヲ許サ、ルモノトス然レトモ同一ノ會社ニシテ損害保險ノ一種タル火災保險ト運送保險ト兼營スルカ如キハ毫モ法ノ禁スル所ニ非サルナリ

(四) 保險會社ノ業務ハ主務官廳ノ監督ニ屬ス會社カ若シ保險業法ノ規定及ヒ其免許申請ニ添附シタル書類ノ規定ニ違反スルトキハ主務官廳ハ之ニ從ハシムル爲メ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得又主務官廳ハ何時ニテモ保險會社ヲシテ其事業ノ報告ヲ爲サシメ又ハ會社ノ業務及ヒ會社財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得其業務又ハ會社財産ノ狀況ニ依リ其事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキハ其事業ノ停止ヲ命シ又ハ期間ヲ定メテ業務執行ノ方法若クハ計算ノ基礎ノ變更ヲ命シ其他保險契約者被保險者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ權利ヲ保護スルニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得又會社カ其命令ニ違反シタルトキハ事業ノ停止若クハ取締役ノ改選ヲ命シ又ハ免許ヲ取消スコトヲ得ヘシ而シテ保險會社ハ毎年一回一定ノ時期ニ於テ其帳簿ヲ閉鎖シ總會終結ノ後遲滯ナク財産目錄貸借對照表事業報告書損益計算書及ヒ基金ノ償却其利息ノ支拂準備金並

(三)

(三)

ニ利益又ハ剩餘金ノ配當ニ關スル決議書ヲ主務官廳ニ提出スルコトヲ要ス右書類ノ書式ハ農商務大臣之ヲ定ム(保險業法九乃至一二條、九二條、九四條)

又保險會社ノ清算ハ主務官廳ノ監督ニ屬スルモノニシテ主務官廳ハ何時ニテモ必要ナル検査ヲ爲スコトヲ得ヘシ(保險業法一三條)

(五) 保險契約者被保險者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ會社ノ定時總會終結ノ後前項ニ掲ケタル(即チ主務官廳ニ提出スヘキ)書類ノ閲覧ヲ求メ又ハ其謄本若クハ抄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得但定款又ハ保險約款ノ定ムル所ニ依リ其謄本又ハ抄本ノ交付ニ付キ手数料ヲ支拂フコトヲ要ス(保險業法九二條)

(六) 保險會社ハ保險契約ノ種類ニ從ヒ各事業年度ノ終ニ於テ存スル契約ニ付キ責任準備金ヲ計算シ且之ヲ特ニ設ケタル帳簿ニ記載スルコトヲ要ス(保險業法九五條)

(七) 保險會社ノ取締役監査役又ハ清算人及ヒ相互會社ノ發起人ハ法律ノ規定又ハ主務官廳ノ命令ニ違反シタルトキハ五圓以上千圓以下ノ過料ニ處セラル、モノトス(保險業法九八乃至一〇〇條)

(八) 以上(一)乃至(七)ニ述ヘタル所ハ株式會社タルト相互會社タルトヲ區別セス等シク保險會社ニ適用スヘキ規定タリ而シテ保險業法ハ尙ホ其第二章ニ於テ株式會社第三章ニ於テ相互會社ニ關スル特別ノ規定ヲ設ケタリト雖トモ之ヲ詳説スルハ本講義ノ範圍ヲ超脱スルノ虞アルヲ以テ茲ニハ只兩者間ニ於ケル重要ナル差異ヲ擧クルニ止ムヘシ

1 株式會社ハ其本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ開業ノ準備ニ着手スルコトヲ得ス(商法四六條)ト雖トモ相互保險會社ハ主務官廳ノ免許ヲ受ケタルトキハ假令其登記アラサルモ事業ヲ開始スルコトヲ妨ケサルモノトス但保險業法三五條商法四五條ニ依リ登記ヲ爲スニ非サレハ第三者ニ對抗スルコトヲ得サルハ勿論ナリ

2 株式會社ハ一定ノ資本金ヲ要シ相互會社ハ一定ノ基金ヲ要ス然レトモ資本金及ヒ基金ハ共ニ拾萬圓ヲ下ルコトヲ得サルハ同一ナリ(保險業法一六二八條)

3 相互會社モ亦株式會社ノ如ク法人タリト雖トモ保險業法三五條商法四四(四)

(五)

條株式會社ハ商人タルニ反シ相互會社ハ然ラス

4 株式會社ニハ株主總會アリ相互會社ニハ社員總會アリ而シテ又相互會社ニ於テハ社員總會ニ代ハルヘキ機關ヲ設クルコトヲ得ヘシ(商法一五六條以下保險業法四二條)

5 株式會社ニ於テモ相互會社ニ於テモ其發起人ノ七人以上ナルヘキコトハ同一ナルモ(保險業法三五條商一一九條)然レトモ相互會社ニ於テハ社員ノ數ハ百人ヲ下ルコトヲ得ス株式會社ニ於テハ株主ノ數七人未滿タルコトヲ得ス從テ相互會社ニ於テハ社員カ百人未滿ニ減シ株式會社ニ於テハ株主カ七人未滿ニ減シタルトキハ會社ノ解散ノ原因ト爲ルモノトス(保險業法二九七二條商法二二一條)

6 株式會社ニ於テハ株主ハ株金支拂ノ義務ヲ有スルノミナルモ相互會社ニ於テハ社員ノ責任ハ定款ノ規定ニ從ヒ社員全員カ或ハ無限ニテ責任ヲ負フカ或ハ保險料ヲ限度トシテ責任ヲ負フカ或ハ又保險料ノ外一定ノ金額ヲ限度トシテ責任ヲ負フノ三種ナリ(商法一四四條保險業法三七條)

### 第二款 保險契約者

保險契約者ハ保險契約ニ於テ保險者ニ對スル相手方ニシテ保險者ニ對シ報酬ヲ支拂フコトヲ約スルモノナルコト及ヒ保險契約者ハ通常ハ被保險者即チ保險契約ニ依リテ危險ノ擔保ヲ得ルモノナリト雖トモ保險契約者以外ニ第三者カ被保險者ト爲ル場合モ亦尠少ナラサルコトハ既ニ前第一節ニ於テ述ヘタル所ナレハ茲ニ之ヲ再說セス

保險者ハ前款ニ述ヘシ所ノ如ク株式會社又ハ相互會社ナルコトヲ要スルモノナリト雖トモ保險契約者及ヒ被保險者ハ否テス其法人ナルト自然人ナルトハ問フ所ニ非サルナリ

## 第二章 各論

### 第一節 損害保險

#### 第一款 損害保險契約ノ意義

商法第三百八十四條ニ依レハ損害保險契約ハ當事者ノ一方カ偶然ナル一定ノ事故ニ因リテ生スルコトアルヘキ損害ヲ填補スルコトヲ約シ相手方カ之ニ其報酬ヲ與フルコトヲ約スルニ因リテ其効力ヲ生スルモノニシテ同法第三百八十五條ニハ保險契約ハ金錢ニ見積ルコトヲ得ヘキ利益ニ限リ之ヲ以テ其目的ト爲スコトヲ得ト規定シ又同法第四百一條ニハ保險契約ハ他人ノ爲メニモ之ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ保險契約者ハ保險者ニ對シ保險料ヲ支拂フ義務ヲ負フト規定シタルヲ以テ之ヲ要スルニ損害保險契約トハ當事者ノ一方カ相手方又ハ第三者ニ對シ偶然ナル一定ノ事故ニ因リテ生スルコトアルヘキ金錢ニ見積リ得ヘキ利益ニ關スル損害ヲ填補スルコトヲ約シ相手方カ之ニ其報酬ヲ與フルコトヲ約スル契約ナリト謂フコトヲ得ヘシ故ニ第一章第一節ニ於テ掲ケタル所ノ「エールンベルヒ」氏ノ保險ノ定義ハ我損害保險契約ノ定義トシテ之ヲ認ムルコトヲ得ヘキモノトス從テ右ノ定義ノ分說トシテ述ヘタル所ノモノハ直チニ移シテ損害保險契約ノ説明ト爲スニ足レルヲ以テ茲ニハ只被保險利益及ヒ被保險事故ニ付キ一言ヲ加フルニ止ムヘシ

被保險利益ハ金錢ニ見積リ得ヘキモノナラサルヘカラス換言スレハ經濟上ノ利益タラサルヘカラス然レトモ其利益ハ現在ノモノタルト將來ノモノタルトヲ問ハス翌年ノ收穫ノ如ク將來ニ得ヘキ利益モ亦被保險利益タルコトヲ得ヘシテ又其利益ハ將來ニ於テ收得セラル、コトノ必然ナルコトヲ要セス事物自然ノ成行ニ從ヒ之ヲ收得シ得ヘキモノナルヲ以テ足レリトス  
 被保險利益ハ金錢ニ見積リ得ヘキモノタルコトヲ要スト雖トモ必スシモ物ニ關スルコトヲ要セス只物ニ關スル場合ヲ以テ通常トスルノミ例ヘハ家屋ヲ火災保險ニ付シタルトキハ其保險ノ目的即チ被保險利益ハ家屋ナル物ニ關スト雖トモ其家屋ノ抵當權者カ抵當權的利益ヲ保險ニ付シタルトキハ其被保險利益ハ家屋其物ニ關スルニ非スシテ抵當權的利益ニ關スルモノナリ  
 被保險事故トハ經濟的損害ヲ惹起ス所ノ一定ノ事故ニシテ其種類千差萬別ナリ即チ暴風雨洪水地震等ノ如ク自然ノ作用ニ出ツルモノアリ戰爭變亂竊盜破毀等ノ如ク人爲ニ因ルモノアリ又火災ノ如ク或ハ自然ニ基クモノアリ或ハ人爲ニ因ルモノアリ此被保險事故ハ必スシモ明示ニテ之ヲ約スルコトヲ要セス保險契約

(八)

ノ種類ニ應シ被保險事故タルヘキモノカ法律ニ依リ又ハ慣習ニ從ヒ一定シタル場合ニハ之ヲ明示スルノ必要ナク只如何ナル種類ノ保險契約ヲ締結スルモノナルヤヲ明カニスルヲ以テ足レリトス例ヘハ火災保險ニ於テハ保險者ハ火災ニ因リテ生シタル損害ヲ填補スル責ニ任シ(商法四一九條運送保險ニ於テハ保險者ハ運送中ニ生スルコトアルヘキ損害ヲ填補スル責ニ任ス(同四二三條)ルモノナルヲ以テ當事者カ火災保險ニ付スルコトヲ明カニシタルトキハ其被保險事故ハ火災タル特定ノ事故ナルコトヲ明示スルヲ要セス又運送保險ニ付スルコトヲ明カニシタルトキハ運送中生スルコトアルヘキ總括的事故ヲ被保險事故ト爲スコトヲ明示スルヲ要セサルナリ

被保險事故ハ偶然ナルモノナラサルヘカラス即チ事故ノ發生不發生ノ不確實ナルカ或ハ其發生スルコトハ確實ナルモ其發生ノ時期ノ不確實ナルモノナラサルヘカラス然レトモ被保險事故ハ必スシモ將來ニ發生スヘキモノナルコトヲ要セス事故ノ偶然ナルト否トハ之ヲ主觀的ニ決スヘキモノニシテ契約締結ノ際當事者ノ一方又ハ被保險者カ事故ノ生セサルヘキコト又ハ既ニ生シタルコトヲ知ラ



サリシトキハ其事故カ既ニ其當時確定シタルモノナリト雖トモ尙ホ偶然ノ事故  
タルコトヲ失ハス(商法三九七條參照)

### 第二 欸 損害保險契約ノ種類

商法ハ第三編第十章第一節損害保險ノ規定中第二欸ヲ火災保險トシ第三欸ヲ運  
送保險ト爲シ又第五編第五章ニ海上保險契約ヲ規定シタリ而シテ海上保險契約  
ハ第六百五十三條ニ依レハ航海ニ關スル事故ニ因リテ生スルコトアルヘキ損害  
ノ填補ヲ以テ其目的トスルモノニシテ損害保險契約ニ屬スルコト明瞭ナレハ火  
災保險運送保險及ヒ海上保險カ損害保險ノ種類タルコトモ亦疑ナキ所タリ然レ  
トモ被保險事故ハ前述セルカ如ク種々ニシテ單ニ火災ニ止マラス又運送若クハ  
航海ニ關スル事故ノミニ限ラレサルモノナレハ右ノ三種類ノ外ニモ亦損害保險  
契約ノ種類ニ屬スルモノ、存スヘキコトハ勿論ナリトス

#### 第一 火災保險

火災保險ニテハ火災ニ因リテ生シタル損害ヲ填補スルモノニシテ火災ヲ被

(二)

保險事故ト爲スモノナリ(商四一九條)然レトモ廣ク火災ヲ被保險事故ト爲ス  
モノハ皆火災保險ナリト云フニ非サルコトハ運送保險(商四二三條)及ヒ海上  
保險(商六五三條)ノ規定ニ依リテ明カナリ何トナレハ運送保險ニ於テハ運送  
ニ付キ生スルコトアルヘキ損害ハ火災ニ原因スルト又ハ其他ノ事故ニ基ク  
トナ問ハス總テ之ヲ填補スヘク又海上保險ニ於テハ航海ニ關スル事故ニ因  
リテ生スル損害ハ火災ニ原因スルト又暴風其他ノ事故ニ基クトナ問ハス總  
テ之ヲ填補スルモノナレハナリ故ニ火災保險トハ海上保險又ハ運送保險ニ  
非スシテ火災ヲ被保險事故ト爲ス所ノ保險ヲ指稱スルモノナリト解セサル  
ヘカラス

(三)

#### 第二 運送保險

運送保險ニテハ運送ニ關シテ生スルコトアルヘキ損害ヲ填補スルモノニシ  
テ其被保險事故ハ火災ナルト其他ノ事故ナルトナ問ハス運送ニ關シテ發生  
スヘキ事故ハ總テ其被保險事故タリ(商四二三條)然レトモ廣ク運送ニ關スル  
事故ヲ被保險事故ト爲スモノハ皆運送保險ナリト爲スコト能ハス何トナレ

ハ海上保險ハ航海ニ關スル事故ヲ被保險事故トスルモノニシテ即チ海上ノ運送ニ關スル事故ヲ被保險事故ト爲スモノニ外ナラザレハナリ故ニ運送保險トハ海上保險ニ非スシテ運送ニ關スル事故ヲ被保險事故ト爲ス所ノ保險ヲ指スモノナリト謂ハサルヘカラス

第三海上保險

海上保險ニテハ航海ニ關スル事故ヲ被保險事故ト爲スモノニシテ其事故カ火災タルカ或ハ其他ノ事故タルカハ之ヲ問ハス然レトモ商法第五百三十八條第二項ニ依レハ海商編第五編ノ規定ハ端舟其他櫓權ノミヲ以テ運轉シ又ハ主トシテ櫓權ヲ以テ運轉スル舟ニハ之ヲ適用セサルモノナルカ故ニ海上保險ハ端舟其他櫓權ノミヲ以テ運轉シ又ハ主トシテ櫓權ヲ以テ運轉スル舟以外ノ船舶ノ航海ニ關スル事故ヲ被保險事故ト爲スモノナリト謂ハサルヘカラス

第三款 損害保險契約ノ無効

(四)

損害保險契約モ亦一般法律行爲ノ規定ニ從ヒテ無効タルモノナリト雖トモ茲ニハ只損害保險契約ニ關スル別段ノ無効ニ付テノミ説明スヘシ

(五)

第一項 無効ノ事由

損害保險契約ニ特別ナル無効ノ事由ハ左ノ如シ

第一被保險利益ノ欠缺

損害保險契約ハ金錢ニ見積リ得ヘキ利益ニ關スル損害ヲ填補スルコトヲ約スル契約ニシテ被保險利益ハ即チ保險ノ目的ナルカ故ニ保險契約カ被保險利益ヲ欠缺セルトキハ其無効タルコト多言ヲ要セス又其損害ノ填補ハ被保險利益ノ上ニ生シタル損害ヲ填補スルニ在ルモノナレハ利益ノ價額即チ保險價額ヲ超過シタル部分ニ對スル保險契約所謂超過保險ハ被保險利益ヲ欠缺スルモノニシテ其超過シタル部分ニ付テハ保險契約ハ無効タルモノトス(商三八六條)然ラハ其保險價額ハ如何ニシテ之ヲ定ムヘキカ當事者カ保險價額ヲ定メタルトキハ之ヲ標準トシ(商三九四條)其定メナキトキハ損害カ生シ

タル地ニ於ケル其時ノ價額ニ依リテ之ヲ定ムヘキモノトス(商三九三條)  
而シテ右ノ如キ超過保險ハ又重複保險ノ場合ニ於テ生ス即チ同一ノ目的ニ  
付キ同時ニ數個ノ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ生スルコトアリ或ハ同一  
ノ目的ニ付キ相次テ數個ノ保險契約ヲ爲シタルトキニ於テ生スルコトアリ  
前ノ場合ニ於テハ其保險金額カ保險價額ニ超過シタルトキハ各保險者ノ負  
擔額ハ其各自ノ保險金額ノ割合ニ依リテ之ヲ定ム蓋シ同時ニ成立シタル保  
險契約ハ其効力同等ナルニ因レリ而シテ此場合ニ於テハ數個ノ保險契約ノ  
日附カ同一ナルトキハ其契約ハ同時ニ爲シタルモノト推定ス(商三八七條)ル  
カ故ニ其同時ナラサルコトヲ主張スル者ハ之ヲ立證スルノ責任アルモノト  
ス後ノ場合ニ於テハ前ノ保險者先ツ損害ヲ負擔シ若シ其負擔額カ損害ノ全  
部ヲ填補スルニ足ラサルトキハ後ノ保險者之ヲ負擔ス(商三八八條)蓋シ此場  
合ニ於テハ前ニ有効ニ成立シタル保險契約ハ後ノ保險契約ノ爲メニ無効ト  
爲ルヘキ理由存セス保險價額ニ滿ツル迄順次ニ填補シ之ニ超過スル部分ヲ  
以テ無効ト爲スヘキモノナレハナリ

(六)

然レトモ右ノ規定ハ被保險事故又ハ保險期間ノ同一ナル場合ニノミ適用ス  
ヘキモノニシテ各保險契約ニ於テ被保險事故及ヒ保險期間ノ異ルトキハ之  
ヲ適用セス蓋シ被保險事故及ヒ保險期間ノ異ルトキハ同一ノ目的ニ付キ數  
個ノ保險契約ヲ爲スト雖トモ超過保險ヲ生スルコトアラサレハナリ故ニ被  
保險事故又ハ保險期間ノ全ク同一ナラサル場合ニ於テハ各契約ニ於テ其共  
通ノ同一ナル部分ニ付テノミ各契約ニ於ケル保險金額ヲ通算シ保險價額ニ  
超過スル部分ヲ無効ト爲スヘキモノトス  
之ヲ要スルニ重複保險ニ於テモ超過保險ト爲レル部分ヲ無効ト爲スニ過キ  
サレハ保險價額ノ全部ヲ保險ニ付シタル後ト雖モ超過保險ヲ生セサル場合  
ニ於テハ更ニ保險契約ヲ爲スコトヲ得ヘク從テ左ノ場合ニ於テハ保險價額  
ノ全部ヲ保險ニ付シタル後ト雖トモ更ニ保險契約ヲ爲スコトヲ得ヘシ(商三八  
九條)

(七)

- 一、前ノ保險者ニ對スル權利ヲ後ノ保險者ニ讓渡スコトヲ約シタルトキ、
- 二、前ノ保險者ニ對スル權利ノ全部又ハ一部ヲ拋棄スヘキコトヲ後ノ保險

者ニ約シタルトキ

三前ノ保險者カ損害ノ填補ヲ爲サ、ルコトヲ條件トシタルトキ

第二被保險事故ノ發生又ハ不發生ヲ知レルコト

被保險事故ハ偶然ナル事故ナルコトヲ要シ即チ事故カ將來ニ於テ發生スル  
ヤ否ヤノ不確實ナルコト又ハ其發生スルコトハ確實ナルモ其發生ノ期時ノ  
不確實ナルモノナルコトヲ要シ又既ニ發生シタルモノナルカ或ハ將來發生  
セサルヘキモノナルトキハ契約締結ノ際當事者ノ一方又ハ被保險者カ事故  
ノ既ニ生シタルモノナルコト又ハ將來生セサルヘキモノナルコトヲ知ラサ  
ルコトヲ要スルコトハ既ニ前述セシ所ナリ故ニ事故ノ發生シタルモノナル  
コト又ハ將來發生セサルヘキモノナルコトヲ當事者ノ一方又ハ被保險者ニ  
於テ契約締結ノ際既ニ之ヲ知リタルモノナルトキハ被保險事故ハ偶然ナリ  
ト云フ能ハサルヲ以テ保險契約ハ無効トス(商三七九條)

第三重要ナル事實ノ不告又ハ虛陳

保險契約締結ノ際保險契約者カ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ重要ナル事實

ヲ告ケス又ハ重要ナル事項ニ付キ不實ノ事ヲ告ケタルトキハ其契約ハ無効  
トス(商三九八條)蓋シ保險契約ハ偶然ナル一定ノ危險ヨリ生スル損害ノ填補  
ヲ目的ト爲スモノナレハ保險者ハ十分ニ其危險ヲ測定スルニ非サレハ契約  
ヲ締結スルモノニアラス而シテ此危險ヲ測定スル事實ニ付テハ保險者ハ十  
分ナル智識ヲ有スルモノニ非サルヲ以テ其事實ニ關スル保險契約者ノ智識  
ヲ保險者ニ告知スルコトハ保險契約締結上甚ダ必要ナルニ因ルモノトス故  
ニ茲ニ所謂重要ナル事實トハ若シ保險者カ其事實ヲ知リタランニハ全ク契  
約ヲ締結セザリシカ或ハ異リタル條件ノ下ニ契約ヲ締結セシナラント認め  
得ラルヘキ事實ヲ指スモノナリト辯セサルヘカラス然レトモ保險者カ其事  
實ヲ知リタランニハ契約ヲ締結セサルヘカリシコトノ確然ナルコトヲ必要  
トセス而シテ其事實ノ重要ナルヤ否ヤハ客觀的ニ之ヲ決スヘキモノニシテ  
保險者ノ意思ヲ標準トスヘキモノニアラス亦保險契約者及ヒ被保險者ノ意  
思ヲ標準トスヘキモノニモアラス

保險契約者カ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ重要ナル事實ヲ告ケス又ハ重要

ナル事項ニ付キ不實ノ事ヲ告ケタル場合ニ於テモ保險者カ其事實ヲ知リ又ハ之ヲ知ルコトヲ得ヘカリシトキハ保險契約ハ無効ニアラス(商三九八條但書)蓋シ保險者カ自ラ重要ナル事實ヲ知レルトキハ更ニ保險契約者ヨリ之ヲ告知スルコトヲク或ハ不實ノ陳述アルモ保險者ハ危險ニ關スル測定ヲ誤ルコトアラサルヘク又重要ナル事實ヲ知ルコトヲ得ヘカリシトキニ之ヲ知ラサルハ保險者ノ重大ナル過失ナレハ契約ヲ無効トシテ保險者ヲ保護スルノ必要ナキニ因ル

第四委任ヲ受ケスヨテ他人ノ爲メニ保險契約ヲ爲スコトヲ告ケサルコト、保險契約者カ委任ヲ受ケスシテ他人ノ爲メニ契約ヲ爲シタル場合ニ於テ其旨ヲ保險者ニ告ケサルトキハ其契約ハ無効トス(商四〇二條)而シテ保險者カ其事實ヲ知ルト否トハ之ヲ問ハサルナリ蓋シ保險契約ハ他人ノ爲メニ之ヲ爲スコトヲ得ルモノナリト雖トモ委任ヲ受ケスシテ之ヲ爲ストキハ所謂賭博保險ヲ行フ手段ト爲ルヘキ恐アルヲ以テ之ヲ無効ト爲スモノナリ然レトモ保險契約者カ若シ之ヲ告ケタルトキハ其契約ハ有効ニシテ被保險者ハ當

(三)

(三)

然其契約ノ利益ヲ享受スルモノトス(商四〇二條)

### 第二項 無効ノ結果

保險契約ノ全部又ハ一部カ無効ナル場合ニ於テ保險契約者及ヒ被保險者カ善意ニシテ且重大ナル過失ナキトキハ保險者ニ對シテ保險料ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ヘシ(商三九九條)故ニ重要ナル事實ノ不告又ハ虛陳ニ基キ契約ノ無効ナル場合ニ於テハ保險者ニ對シテ保險料ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得サルヘシ何トナレハ重要ナル事實ノ不告又ハ虛陳ニ基キ契約ナルハ保險契約者カ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ之ヲ告ケサルカ又ハ虛陳シタル場合ニ限レハナリ然レトモ此場合ニモ不當利得ノ原則ニ從ヒ給付シタル保險料ノ返還ヲ請求シ得ヘキハ論外トス

### 第四款 損害保險契約ノ効力

有効ニ成立シタル損害保險契約ハ種々ノ効力ヲ生ス

第一項 保險證券ニ關スル權利義務

保險者ハ保險契約者ノ請求ニ因リ保險證券ヲ交付スルコトヲ要ス(商四〇三條一項)然レトモ保險證券ハ契約成立ノ要件ニアラス保險契約ノ効果トシテ保險契約者ノ請求ニ因リ之ヲ交付スヘキ一ノ證據タル證券ニ過キス  
損害保險證券ニハ左ノ事項ヲ記載シ保險者之ニ署名スルコトヲ要ス(商四〇三條二項)

- 一、保險ノ目的(被保險利益)
- 二、保險者ノ負擔シタル危險
- 三、保險價額ヲ定メタルトキハ其價額
- 四、保險金額
- 五、保險料及ヒ其支拂ノ方法
- 六、保險期間ヲ定メタルトキハ其始期及ヒ終期
- 七、保險契約者ノ氏名又ハ商號

(四)

八、保險契約ノ年月日  
九、保險證券ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日  
右ノ事項ノ外火災保險證券ニハ

(五)

一、保險ニ付シタル建物ノ所在構造及ヒ用方  
二、動産ヲ保險ニ付シタルトキハ之ヲ納ル、建物ノ所在構造及ヒ用方  
ヲ記載スルコトヲ要シ(商四二二條)運送保險證券ニハ

- 一、運送ノ道筋及ヒ方法
- 二、運送人ノ氏名又ハ商號
- 三、運送品ノ受取及ヒ引渡ノ場所
- 四、運送期間ノ定アルトキハ其期間

ヲ記載スルコトヲ要ス(商四二五條)

此他保險證券ニハ保險約款ノ全文ヲ記載シ又ハ之ヲ記載シタル書面ヲ添付スルコトヲ要ス(保險業法施行規則七條)保險約款ニハ普通保險約款ト特別保險約款トノ別アリ普通保險約款ニ定ムヘキ事項ハ保險業法第七條ニ於テ規定セラレタリ

即チ左ノ如シ

- 一、保險者カ保險金ノ支拂ヲ爲スヘキ事由
- 二、保險契約無効ノ原因
- 三、保險者カ其義務ヲ免カルヘキ事由
- 四、保險者ノ義務ノ範圍ヲ定ムル方法及ヒ其義務履行ノ時期
- 五、保險契約者又ハ被保險者カ其義務不履行ノ爲メニ受クヘキ損失
- 六、保險契約ノ全部又ハ一部ノ解除ノ原因及ヒ其解除ノ場合ニ於テ當事者ノ有スル權利義務
- 七、保險契約者又ハ被保險者ノ利益又ハ剩餘金ノ分配ニ與カル權利ノ有無及ヒ範圍

### 第二項 保險料ニ關スル權利義務

第一、保險料ノ支拂

(一) 保險契約ニ於テハ保險契約者ハ保險者ニ對シテ報酬即チ保險料ヲ支拂フコ

(六)

(七)

トヲ約スルモノナリ從テ保險料ヲ受取ルヘキ者ハ保險者ニシテ之ヲ支拂フヘキ者ハ保險契約者ナリ保險契約者ハ自己カ被保險者タル場合ハ勿論第三者カ被保險者タル場合モ亦保險料支拂ノ義務ヲ負フモノトス(商三八四條四〇一條)而シテ保險契約者カ未ダ其全部ノ保險料ヲ支拂ハサル場合ニ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ保險者ハ相當ノ擔保ヲ供セシメ又ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ヘク(商四〇五條三項)又他人ノ爲メニ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ保險者ハ被保險者ニ對シテ保險料ヲ請求スルコトヲ得ヘシ然レトモ被保險者カ其權利ヲ拋棄シタルトキハ之ニ對シテ保險料ヲ請求スルコトヲ得ス(商四〇六條)

(二) 保險料ノ金額及ヒ支拂ノ時期ハ共ニ保險契約ニ依リテ定マルモノトス然レトモ損害保險ニ於テハ保險金額ハ保險價額ヲ以テ標準トシ保險料ハ保險金額ヲ以テ標準ト爲スモノナレハ保險期間中ニ保險價額カ著シク減少シタルトキハ保險契約者ハ保險者ニ對シテ保險金額及ヒ保險料ノ減額ヲ請求スルコトヲ得ヘク又若シ保險契約ノ當事者カ特別ノ危險ヲ斟酌シテ保險料ノ額

ヲ定メタル場合ニ於テ保險期間中其危險カ消滅シタルトキハ保險契約者ハ保險料ノ減額ヲ請求スルコトヲ得ヘシ右何レノ場合ニ於テモ減額ノ効力ハ將來ニ向テノミ生スルモノニシテ既往ニ溯ラサルモノナレハ保險價額ノ著シク減少シタルトキ以後又ハ特別危險ノ消滅シタルトキ以後ノ保險料ヲ減額セシムルコト能ハス單ニ減額請求以後ノ保險料ヲ減額セシムルニ過キサルナリ(商三九二條四〇〇條)

(三)保險料支拂ノ義務ハ一年ノ特別時効ニ因リテ消滅ス(商四一七條)

第二保險料ノ返還

(一)保險者ノ責任カ始マル前ニ於テ保險契約者又ハ被保險者ノ行爲ニ因ラスニテ保險ノ目的ノ全部又ハ一部ニ付キ保險者ノ負擔ニ歸スヘキ危險カ生セサルニ至リタルトキハ保險者ハ保險料ノ全部又ハ一部ヲ返還スルコトヲ要ス(商四〇八條)

(二)然レトモ保險者ハ其返還スヘキ保險料ノ半額ニ相當スル金額ヲ請求スルコトヲ得ヘシ(商四〇九條)蓋シ保險者ノ責任ノ始マル前ニ於テ危險カ生セサル

ニ至リタルトキハ保險者ヨリ保險料ヲ返還スヘキハ當然ナリト雖トモ契約締結ノ爲メニ費シタル手数料等ヲ悉ク保險者ノ負擔トスルハ不當ナレハナリ

第三項 損害填補ニ關スル權利義務

第一損害ヲ填補スヘキ者ハ保險者ニシテ其填補ヲ受クヘキ者ハ被保險者ナリ被保險者ハ保險契約者タルコトアリ又第三者タルコトアリ保險契約者カ委任ヲ受ケサル第三者ヲ被保險者トシテ保險契約ヲ爲シ且其旨ヲ保險者ニ告ケタル場合ニハ被保險者タル第三者ハ當然其契約ノ利益ヲ享受シ(商四〇二條)之ニ反シテ保險契約者カ委任ヲ受ケタル第三者ヲ被保險者トシテ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ被保險者カ保險者ニ對シテ契約ノ利益ヲ享受スル意思ヲ表示シタルトキヨリ保險契約ノ利益ヲ享受スヘシ(商一條、民五三七條二項)

被保險者カ被保險利益ヲ讓渡シタルトキハ同時ニ保險契約ニ因リテ生シタマヒ權利ヲモ讓渡シタルモノト推定ス(商四〇四條一項)ルヲ以テ此場合ニハ損害ノ



填補ヲ受クヘキ者ハ被保險利益ノ讓受人タリ然レトモ被保險者及ヒ被保險利益ノ讓受人カ保險契約ニ因リテ生シタル權利ヲ讓渡ス意思ヲ有セサルモノト認ムヘキ場合ハ保險契約ハ被保險利益ノ讓渡ト共ニ終了シ損害填補ヲ受クル權利ハ其讓受人ニ移轉スルコトナシ

賃借人其他他人ノ物ヲ保管スル者カ支拂フコトアルヘキ損害賠償ノ爲メ其物ヲ火災保險ニ付シタルトキハ所有者ハ被保險者ニ對シテ直接ニ其損害ノ填補ヲ請求スルコトヲ得(商四二一條)

第二、填補スヘキ損害ハ當事者カ契約ヲ以テ定メタル保險期間中被保險利益ニ付キ一定ノ事故ニ因リテ生シタルモノニ限ル火災保險契約ノ場合ニ於テハ火災ニ因リテ生シタル損害ハ其火災ノ原因如何ヲ問ハス之ヲ填補スルコトヲ要シ消防又ハ避難ニ必要ナル處分ニ因リ被保險利益ニ付キ生シタル損害モ亦之ヲ填補スルコトヲ要シ(商四一九條四二〇條)運送保險契約ノ場合ニ於テハ保險期間中即チ特約ナキトキハ運送人カ運送品ヲ受取リタル時ヨリ之ヲ荷受人ニ引渡ス時迄被保險利益ニ付キ運送ニ關スル事故ニ因リテ生シタル損害ヲ填補ス

(三)

ルコトヲ要ス(商四二三條)然レトモ左ニ掲ケタル損害ハ之ヲ填補スルコトヲ要セサルモノトス

- (一) 戦争其他ノ變亂ニ因リテ生シタル損害(商三九五條)
- (二) 保險ノ目的ノ性質若クハ瑕疵其自然ノ消耗ヨリ生シタル損害(商三九六條)
- (三) 保險契約者又ハ被保險者ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル損害(商三九六條)

第三、填補スヘキ損害ハ之ヲ金錢ニ見積リテ填補スルモノニシテ其填補スヘキ金額ハ保險價額保險金額及ヒ損害額ニ依リテ之ヲ決定スヘキモノトス

一、保險價額

損害保險契約ニ於テハ一般ニ損害ヲ生シタル地及ヒ時ニ於テ被保險利益ノ有スヘカリシ價額(被保險事故ノ生セザリシ場合ニ)ヲ以テ保險價額トス(商三九三條)而シテ運送品ノ保險ニ付テハ發送ノ地及ヒ時ニ於ケル其價額及ヒ到達地マテノ運送賃其他ノ費用ヲ以テ保險價額トシ運送品ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益ハ特約アルトキニ限リ之ヲ保險價額中ニ算入スヘキモノトス(商四

二四條

然レトモ右ノ標準以外ニ於テ當事者カ任意ニ保險價額ヲ定ムルコトヲ妨ケ  
ス若シ之ヲ定メタルトキハ當事者ハ之ニ依ルコトヲ要シ保險者ハ其價額ノ  
著シク適當ナルコトヲ證明スルニ非サレハ其價額ヲ減少スルコトヲ得サル  
モノトス(商三九四條)

二、保險金額

保險金額トハ當事者間ニ於テ損害填補ノ爲メニ支拂フコトヲ約シタル金額  
ヲ云フ保險金額カ保險價額ヲ超過シタルトキハ其超過シタル部分ニ限リ保  
險契約ハ無効ナリ然レトモ保險金額ハ保險價額ト同額ナルコトアリ又之ヨ  
リ少額ナルコトアリ其同額ナルハ保險價額ノ全部ヲ保險ニ付シタル場合ニ  
シテ其少額ナルハ保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ナリ  
保險金額ハ保險期間中保險價額ノ著シク減少シタルトキニ於テ保險契約者  
ヨリ保險者ニ對シテ其減額ヲ請求スルコトヲ得ヘシ然レトモ此以外ニ於テ  
ハ保險者モ保險契約者モ其増減ヲ請求スルコトヲ得ス(商三九二條)

(四)

三、損害額

損害額トハ被保險利益ノ價額カ被保險事故ニ因リテ被ムリタル損害ノ額ヲ  
云フ故ニ損害額ハ保險價額ト同一ノ標準ニ依リテ之ヲ定ムヘキモノニシテ  
從テ被保險利益全部ノ損害ヲ被ムリタル場合ニハ損害額ハ保險價額ト同シ  
ク被保險利益一部ノ損害アリシ場合ニ於テハ損害額ハ保險價額ヨリ損害ヲ  
被ムラサル被保險利益ノ部分ニ對スル價額ヲ控除シタルモノニ等シ

四、填補額

填補額ハ常ニ必スシモ損害額若クハ保險金額ト同一ナルモノニ非ラス商法  
第三百九十一條ハ保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ  
負擔ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ムト規定シ其全部  
ヲ保險ニ付シタル場合ニ付テハ何等ノ規定ヲ設ケスト雖トモ此場合ニ於テ  
モ尚ホ同一ノ方法ニテ填補額ヲ定ムヘキモノナルコトハ多言ヲ要セサル所  
ナリ之ニ依レハ填補額ノ損害額ニ對スル割合ハ保險金額ノ保險價額ニ對ス  
ル割合ニ依リテ之ヲ定ムルモノニシテ換言スレハ填補額ノ保險金額ニ對ス

ル割合ハ損害額ノ保險價額ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ムルモノトス  
 而シテ損害額ハ保險價額ヲ超過スルコトナキモノナルカ故ニ填補額モ亦保  
 險金額ヲ超過スルコトナキハ明瞭ニシテ換言スレハ保險金額ハ填補額ノ最  
 高限度ナリ又保險金額ハ保險價額ヲ超過スルコトアラサルモノナルカ故ニ  
 填補額ハ損害額ヲ超過スルコトナキハ明カニシテ即チ損害額ハ填補額ノ最  
 高限度ナリ而シテ保險金額及ヒ損害額ハ共ニ保險價額ヲ超過スルコトナキ  
 モノナルカ故ニ保險價額モ亦填補額ノ最高限度ナリ  
 一ノ被保險利益ニ付キ一個ノ損害保險契約アルトキハ以上ニ述ヘタル所ニ  
 從ヒテ損害ヲ填補スヘキモノナリ然レモ同一ノ目的ニ付キ同時ニ數個ノ保  
 險契約ノ日附カ同一ナルトキハ其契約ハ同時ニ爲シタルモノト推定ス數個  
 ノ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ其保險金額カ保險價額ニ超過シタルトキ  
 ハ各保險者ノ保險金額ノ割合ニ依リ上述ノ規定ニ從ヒテ其各自ノ負擔額ヲ  
 定メ以テ被保險者ニ支拂フヘキ總額ヲ制限シ(商三八七條)之ニ反シテ相次テ  
 數個ノ保險契約ヲ爲シタルトキハ前ノ保險者先ツ上述ノ規定ニ從ヒテ損害

(六)

(七)

ヲ負擔シ若シ其負擔額カ損害ノ全部ヲ填補スルニ足ラサルトキハ後ノ保險  
 者上述ノ規定ニ從ヒテ之ヲ負擔スルモノトス(商三八八條)而シテ各保險契約  
 ニ於ケル保險價額ノ異ル場合ニ於テハ各保險契約ニ付キ損害額ヲ定メ以テ  
 填補額ヲ制限スヘキモノトス  
 同時ニ又ハ相次テ數個ノ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ保險者ノ一人ニ對  
 スル權利ノ拋棄ハ他ノ保險者ノ權利義務ニ影響ヲ及ボサ、ルモノニシテ即  
 チ一旦定マリタル填補額ニハ變動ヲ生セサルモノトス(商三九〇條)  
 填補額ノ説明ヲ終ハルニ臨ミ一言ヲ附加スヘキハ填補スヘキ損害額ヲ計算  
 スルニ必要ナル費用ハ保險者之ヲ負擔スヘキコト即チ是ナリ(商三九三條二  
 項)

第四、損害ヲ填補スヘキ義務ハ被保險事故ニ因リテ被保險利益ニ付キ損害ノ生ス  
 ルコトノ停止條件ノ成就ニヨリテ發生スヘキモノニシテ保險ノ目的ニ付キ保  
 險者ノ負擔スヘキ損害カ生シタルトキハ其後ニ至リ其目的カ保險者ノ負擔セ  
 サル危險ノ發生ニ因リテ滅失シタルトキト雖モ保險者ハ其損害ヲ填補スル責

ヲ免ル、コトヲ得ス(商四一三條)

第五損害ヲ填補スヘキ義務ハ一般債務消滅ノ原因ニ依リテ消滅スヘキコトハ勿

論ナリ茲ニハ只損害填補義務ノ消滅ニ特別ナル規定ヲ學クルニ止ムヘシ

一、保險ノ目的ノ全部カ滅失シタル場合ニ於テ保險者カ保險金額ノ全部ヲ支拂

ヒタルトキ即チ辨濟ニ因リテ其填補義務ノ消滅シタルトキハ保險者ハ其効

果トシテ被保險者カ其目的ニ付キ有セル權利ヲ取得ス但保險價額ノ一部ヲ

保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ權利ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル

割合ニ依リテ之ヲ定ム(商四一五條)

二、損害カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル場合ニ於テ保險者カ被保險者ニ對シ

其負擔額ヲ支拂ヒ即チ辨濟ニ依リテ其填補義務カ消滅シタルトキハ保險者

ハ其支拂ヒタル金額ノ限度ニ於テ保險契約者又ハ被保險者カ第三者ニ對シ

テ有セル權利ヲ取得ス然レトモ保險者カ被保險者ニ對シ其負擔額ノ一部ヲ

支拂ヒタルトキハ保險契約者又ハ被保險者ノ權利ヲ害セサル範圍内ニ於テ

ノニ此權利ヲ行フコトヲ得ヘキモノトス(商四一六條)

(八)

(九)

三、保險金額支拂ノ義務ハ二年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅スヘキモノトス(商四一七條)

### 第四項 損害防止ニ關スル權利義務

保險契約者又ハ被保險者ノ惡意若クハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル損害ハ保險者之ヲ填補スル責ニ任セサルコト(商三九六條)ハ既ニ前述セル所ニシテ被保險者ハ保險ノ目的ニ損害ヲ生セシメサルノ注意ヲ爲スヲ要スルコト明カナルモ尙ホ被保險者ハ損害ノ防止ヲ力ムルコトヲ要スルモノトス(商四一四條)即チ被保險者ハ被保險事故ノ發生セサルコトヲ力メ又既ニ被保險事故ノ發生シタルトキハ之ニ因リ被保險利益ノ上ニ生スル損害ヲ成ルヘク少カラシムルコトヲ力ムルノ義務アルモノトス

被保險者ハ損害防止ノ義務ヲ負擔スルモノナリト雖モ其防止ノ爲メニ生スル費用ヲ負擔スルノ義務ナシ損害ヲ防止スルカ爲メ必要又ハ有益ナリシ費用ハ保險者ニ於テ之ヲ負擔スヘキモノニシテ其費用及ヒ填補額カ保險金額ニ超過スルト

キト雖トモ尙ホ保險者ハ其費用ヲ負擔スヘキモノトス蓋シ其費用ハ損害ノ填補ニ非ラス損害ノ填補トハ全ク別物タルモノナレハ其費用及ヒ填補額カ保險金額ヲ超過スルモ之ヲ以テ超過保險ト看做スコト能ハサルモノナレハナリ而シテ其費用負擔ニ付テハ保險者カ被保險利益ノ全部ヲ保險シタルトキハ其費用ノ全部ヲ負擔スヘキハ勿論ナルモ只其一部ヲ保險シタル場合ニハ保險金額ノ保險價額ニ對スル場合ニ依リ其費用ノ一部ノミヲ負擔スヘキモノトス(商四一四條三九一條)

### 第五項 擔保ニ關スル權利義務

保險者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ保險契約者ハ相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得ヘク保險者ハ其要求ニ應シテ之ヲ供スルノ義務アリ又保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケ且未タ保險料ノ全部ヲ支拂ハサルトキハ保險者ハ相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得ヘク保險契約者ハ其要求ニ應シテ之ヲ供スルノ義務アリ此ノ如キ擔保ノ要求ハ保險者又ハ保險契約者ノ權利ニシテ義務ニアラス保險者又ハ

(一〇)

保險契約者ハ擔保ノ要求ヲ爲サスシテ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ヘシ(商四〇五條)蓋シ破産ハ保險料ノ拂續若クハ保險金額ノ支拂ヲ危殆ナラシムルモノナルカ故ニ破産者ノ相手方ニ契約ノ解除權ヲ與フルハ事理ノ當然ナルノミナラス亦タ其危殆ニシテ擔保ニ依リ除却シ得ラルヘキモノナル場合ニハ強テ契約ヲ解除セシムルノ必要アラサルヲ以テ擔保ノ要求ト契約ノ解除トハ相手方ノ隨意ニ任スルヲ至當ト爲スニ因レリ

(一一)

保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ保險者ノ要求ニ應シ相當ノ擔保ヲ供スヘキ義務アルハ單ニ保險契約者ト被保險者ト同一人ナル場合ノミナラス被保險者カ第三者タル場合ニ於テモ亦然リトス然レトモ第三者カ被保險者タル場合ニ於テ保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ保險者ハ其被保險者ニ對シ保險料ヲ請求スルコトヲ得ヘシ(商四〇六條)ト雖トモ其請求ヲ受ケタル被保險者モ亦破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テハ保險者ハ其被保險者ニ對シテハ未タ支拂ヲ受ケサル保險料ニ付キ相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得サルヘシ何トナレハ其被保險者ハ此ノ如キ擔保要求アリタルトキハ商法第四百六條但書ニ依リ自己

ノ權利ヲ拋棄シテ其要求ヲ免カル、コトヲ得ヘケレハナリ

### 第六項 通知ニ關スル權利義務

#### 第一、危險ノ變更又ハ増加ノ通知

保險期間中危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラザル事理ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタルトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲シ得ヘキモノナルカ故ニ其解除權ノ行使ヲ容易ナラシムルカ爲メ保險契約者又ハ被保險者ハ危險ノ著シク變更又ハ増加シタルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク之ヲ保險者ニ通知スルノ義務アルモノトス其通知アリタルトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ヘク若シ其通知ノ懈怠アリシトキハ保險者ハ危險ノ變更又ハ増加ノ時ヨリ保險契約カ其効力ヲ失ヒタルモノト看做スコトヲ得ヘシ然レトモ保險者カ右ノ通知ヲ受ケ又ハ危險ノ變更若クハ増加ヲ知リタル後遲滯ナク契約ノ解除ヲ爲サ、ルトキハ其契約ヲ承認シタルモノト看做ス(商四一一條)モノナルカ故ニ假令保險契約者又ハ被保險者カ危險ノ變更又ハ増加ノ通知ヲ怠リ

タルトキト雖トモ保險者ハ危險ノ變更又ハ増加ノ時ヨリ保險契約カ其効力ヲ失ヒタルモノト看做スコトヲ得サルナリ從テ保險契約者カ他人ノ爲メニ保險契約ヲ爲シタル場合ニ保險契約者又ハ被保險者ノ一方カ危險ノ變更又ハ増加ノ通知ヲ爲シタルトキハ他ノ一方ハ更ニ之ヲ通知スルノ義務ナク亦ダ保險者カ保險契約者又ハ被保險者ト同時若クハ之ヨリ以前ニ危險ノ變更又ハ増加アリタルコトヲ知リタルトキハ保險契約者又ハ被保險者ハ其變更又ハ増加ノ通知ヲ爲スノ義務ナキモノトス

#### 第二、損害發生ノ通知

保險者ノ負擔シタル危險ノ發生ニ因リテ損害カ生シタル場合ニ於テ保險契約者又ハ被保險者ニ其損害ヲ生シタルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス(商四一二條)此場合ニ於テモ保險者カ保險契約者又ハ被保險者ト同時若クハ之ヨリ以前ニ損害ノ發生センコトヲ知レルトキハ保險契約者又ハ被保險者ハ其通知ヲ爲スノ義務ナク又保險契約者カ他人ノ爲メニ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ保險契約者又ハ被保險者ノ一方カ其

通知ヲ爲セヨトキハ他ノ一方ハ更ニ其通知ヲ爲スヲ要セサルモノナルヘシ

### 第五款 損害保險契約ノ失効

損害保險契約ハ第一危險ノ著シキ變更又ハ増加第二通知ノ懈怠ニ因リテ其効力ヲ失フモノトス

第一危險ノ著シキ變更又ハ増加

保險期間中危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタルトキハ保險契約ハ當然其効力ヲ失フモノトス(商四一〇條)抑モ危險ハ保險ノ効力ヲ左右スル條件ナレハ純理上此條件ニ變更又ハ増加ヲ生スレハ保險契約ハ直チニ其効力ヲ失フモノト爲スヘキモノナリト雖トモ然ルトキハ如何ナル少許ノ變更又ハ増加モ亦タ契約ノ効力ヲ失ハシムルコトト爲ルノミナラス之ヲ精確ニ論スレハ危險ハ時々刻々少許ノ變更又ハ増加ヲ爲スモノナルヲ以テ之ヲ理由トシテ契約ノ効力ヲ失ハシムルコトヲ得ルモノトセハ恐クハ凡テノ保險契約ハ其効力ヲ失フニ至ルヘキカ故ニ法律ハ保險契

(一四)

(一五)

約ノ効力ヲ失ハシムル所ノ危險ノ變更又ハ増加ハ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リ生シタル著シキモノタルコトヲ要スルモノトセリ被保險者カ保險ノ目的ヲ讓渡シ爲メニ著シク危險ヲ變更又ハ増加シタルトキハ是即チ被保險者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リ著シク危險ヲ變更又ハ増加セルモノニ外ナラサルヲ以テ保險契約ハ其効力ヲ失フモノトス(商四〇四條二項)然レトモ運送保險ニ於テハ運送上ノ必要ニ因リ一時運送ヲ中止シ又ハ運送ノ道筋若クハ方法ヲ變更シタルトキト雖トモ特約アルニ非サレハ保險契約ハ其効力ヲ失ハサルモノトス(商四二六條)ルカ故ニ一時運送ヲ中止シ又ハ運送ノ道筋若クハ方法ヲ變更スルコトハ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘキモノナリトシ且其中止若クハ變更ニ基キ危險ノ變更又ハ増加アリトスルモ苟クモ其中止若クハ變更カ運送上ノ必要ニ因リテ生シタル以上ハ特約アルニ非サレハ保險契約ハ其効力ヲ失ハサルモノトス

第二通知ノ懈怠

保險期間中危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リ

テ著シク變更又ハ増加シタル場合ニ於テ保險契約者又ハ被保險者カ危險ノ變更又ハ増加シタルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク之ヲ保險者ニ通知スルコトヲ要ス若シ其通知ヲ怠リタルトキハ保險者ハ危險ノ變更又ハ増加ノ時ヨリ保險契約カ其効力ヲ失ヒタルモノト看做スコトヲ得ヘシ(商四一一條二項)故ニ通知ノ懈怠ハ前ニ述ヘタル危險ノ變更又ハ増加ノ場合ノ如ク當然契約ノ効力ヲ失ハシムルモノニアラスシテ只之ニ因リ保險者ヲシテ契約カ効力ヲ失ヒシモノト看做スコトヲ得セシムルニ過キス保險者カ其効力ヲ失ヒシモノト看做ササルトキハ保險契約ハ尙ホ有効ナリ

右ノ如ク通知ノ懈怠アリタルトキハ保險者ハ契約ハ其効力ヲ失ヒタルモノト看做スコトヲ得ヘキモノナリト雖トモ保險者カ危險ノ變更又ハ増加ノ通知ヲ受ケ又ハ之ヲ知リタル後遲滯ナク契約ノ解除ヲ爲サ、ルトキハ其契約ヲ承認シタルモノト看做スヘキモノ(商四一一條三項)ナルカ故ニ假令保險契約者又ハ被保險者カ危險ノ變更又ハ増加ノ通知ヲ怠ルモ保險者ニ於テ保險契約者又ハ被保險者ト同時若クハ之ヨリ以前ニ其變更又ハ増加アリシコトヲ知リナカラ遲

(一六)

(二)

滯ナク契約ノ解除ヲ爲サ、ル場合ナルカ或ハ又保險契約者カ他人ノ爲メニ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ保險契約者又ハ被保險者ノ一方カ保險ノ變更又ハ増加ノ通知ヲ爲シタルトキ他ノ一方カ更ニ通知ヲ爲サ、リシ場合ニ於テハ契約ハ其効力ヲ失ヒタルモノト看做サル、コトナキモノニシテ要スルニ此ノ如キ失効ノ結果ハ通知義務アルニ拘ハラヌ之ヲ懈怠セシ場合ニ限りテ生スルモノトス

### 第六款 損害保險契約ノ解除

損害保險契約モ亦一ノ契約ニ外ナラザレハ別段ノ規定存セザルトキハ契約ノ解除ニ關スル民法ノ規定ハ損害保險契約ノ解除ニ關シテモ亦適用セラルヘキモノナリト雖トモ茲ニハ只損害保險契約ノ解除ニ關スル特別ノ規定ヲ説明スルニ止メントス

#### 第一解除權ノ發生

##### 一 保險者ノ解除權ノ發生スル場合



1. 未タ保險料ノ全部ヲ支拂ハサル保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ  
(商四〇五條三項)

2. 保險期間中危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカヲキル事由ニ  
因リテ著シク變更又ハ増加シタル場合(商四一一條一項)

二、保險契約ノ解除權ノ發生スル場合

1. 保險者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ(商四〇五條一項)

2. 保險者ノ責任カ未タ始マラサル場合(商四〇七條)

第二、解除權ノ行使

一、解除權行使ノ方法モ亦契約解除ノ規定ニ從フヘキモノナリト雖トモ保險者  
ノ責任ノ未タ始マラサル場合ニ於ケル保險契約者ノ解除權行使ノ方法ニ付  
テハ商法第四百七條ハ特別ノ規定ヲ設ケ此場合ニ於テハ保險契約者ハ契約  
ノ全部又ハ一部ノ解除ヲ爲スコトヲ得ルモノトセリ

二、保險者カ解除權ヲ行使スル場合ハ其保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場  
合(商四〇五條三項)ナルト危險カ變更又ハ増加シタル場合(商四一一條一項)ナ  
(二)

ルトナ問ハス其解除ハ將來ニ向テノミ其効力ヲ生シ(商四〇五條二項四一一  
條一項)又保險者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ保險契約者カ解除權ノ行使ヲ  
爲ス場合モ亦其解除ハ將來ニ向テノミ其効力ヲ生スルモノトス(商四〇五條  
二項)之レ蓋シ民法第五百四十五條ノ如ク契約ノ當時ニ遡リテ解除ノ効力ヲ  
生スルモノトスルトキハ保險者ハ一旦受領シタル保險料及ヒ受領ノ時以後  
ノ利息ヲ返還スルコトヲ要シ被保險者モ亦一旦受ケタル保險金及ヒ受領ノ  
時以後ノ利息ヲ返還スルコトヲ要スルニ至リ兩者ノ爲メニ却テ不便ヲ生ス  
ヘケレハナリ然レトモ保險者ノ責任カ未タ始マラサル場合ニ於ケル保險契  
約者ノ解除權ノ行使ノ効力ニ付テハ何等ノ規定ナキヲ以テ民法第五百四十  
五條ノ規定ニ從ヒ保險者及ヒ保險契約者ハ各其相手方ヲ原狀ニ復セシムル  
ノ義務ヲ負ヒ其返還スヘキ金銭ニハ其受領ノ時ヨリ利息ヲ附スルコトヲ要  
スルモノトス但此場合ニ於テハ保險者ハ其返還スヘキ保險料ノ半額ニ相當  
スル金額ヲ請求スルコトヲ得ヘシ(商四〇九條)

第三、解除ノ消滅

解除權ハ民法第五百四十七條ノ規定ニ依リ消滅スヘキハ勿論ナルモ保險期間中保險契約又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ危險カ著シク變更又ハ増加シタル爲メニ發生シタル保險者ノ解除權ハ保險者カ保險契約者又ハ被保險者ノ通知ヲ受クルカ若クハ其他ノ方法ニテ危險ノ變更又ハ増加ヲ知リタル後遲滯ナク之ヲ行使スルコトヲ怠リタルカ爲メ保險者ニ於テ其契約ヲ承認シタルモノト看做サル、ニ依リテ消滅スルモノトス(商四一一條)

## 第二節 生命保險

### 第一款 生命保險契約ノ意義

生命保險契約ハ當事者ノ一方カ相手方又ハ第三者ノ生死ニ關シ一定ノ金額ヲ支拂フコトヲ約シ相手方カ之ニ其報酬ヲ與フルコトヲ約スルニ因リテ其効力ヲ生シ(商四二七條)保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ被保險者其相續人又ハ親族ナルコトヲ要ス(商四二八條)故ニ生命保險契約トハ當事者ノ一方カ相手方又ハ第三者ノ生死ニ關シ被保險者其相續人又ハ親族ニ對シ一定ノ金額ヲ支拂フコトヲ約シ相

(四)

相手方カ之ニ其報酬ヲ與フルコトヲ約スル契約ヲ謂フ故ニ生命保險契約ハ、

(五)

第一當事者ノ一方カ一定ノ金額ヲ支拂フコトヲ約スルコトヲ要ス

此ノ一定ノ金額ノ支拂ヲ約スル所ノ當事者ノ一方ヲ保險者ト云ヒ其支拂フコトヲ約セル一定ノ金額ヲ保險金額ト云フ保險金額ハ必ス一定ノモノタルコトヲ要シ一定セサル金額ヲ支拂フコトヲ約スルハ生命保險契約ニ非サルモノトス而シテ其金額ノ一定トハ單ニ其總額ノ一定セルモノ、ミテ云ヘルニアラス一定ノ事故ノ發生スル迄定期金ノ給付ヲ爲スコトヲ約シ又ハ終身定期金ノ給付ヲ爲スコトヲ約セル場合ノ如ク其支拂フヘキ總額ハ一定セサルモ其毎回支拂フヘキ額ヲ一定セルトキハ亦タ一定ノ金額ヲ支拂フコトヲ約セルモノト解セサルヘカラス

第二當事者ノ他ノ一方ハ報酬ヲ與フルコトヲ約スルコトヲ要ス

此ノ報酬ヲ保險料ト云ヒ保險料ヲ與フルコトヲ約スル者ヲ保險契約者ト云フ保險金額ハ一定セサルヘカラサルモ保險料ハ其一定セルコトヲ必要トセス

第三當事者ノ一方カ被保險者其相續人又ハ親族ニ對シテ一定ノ金額ヲ支拂フコトヲ約シ其相手方ハ之ニ報酬ヲ與フルコトヲ約スルコトヲ要ス

故ニ保險料ヲ受クヘキ者ハ保險者ナルモ保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ被保險者其相續人又ハ親族ナリ生命保險契約ハ次ニ述フルカ如ク相手方又ハ第三者ノ生死ニ關シテ締結セラル、モノニシテ相手方又ハ第三者ハ即チ被保險者ナリ故ニ相手方カ被保險者タル場合ニハ保險契約者ハ即チ被保險者ナルモ「第三者」カ被保險者タル場合ニハ被保險者ハ保險契約者トハ異レルモノトス從テ保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ保險契約者タルコトアリ其他ノ被保險者タルコトアリ保險契約者或ハ其他ノ被保險者ノ相續人又ハ親族タルコトアリ之ヲ詳言スレハ保險契約者被保險者及保險金額ヲ受取ルヘキ者ニ付テハ左ノ五場合ノ生スルヲ見ルモノトス

- (1) 保險契約者カ被保險者ニシテ且保險金額ヲ受取ルヘキ者タル場合  
例ヘハ保險契約者カ自己ヲ保險金受取人ト定メタル年金保險ノ如シ
- (2) 保險契約者カ被保險者ニシテ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ他人ナル場合

(六)

例ヘハ夫カ自己ノ生命ヲ保險ニ付シ妻ヲ以テ保險金受取人ト定メタル場合ノ如シ

(七)

- (3) 保險契約者ト被保險者トハ異レルモ保險金額ヲ受取ルヘキ者ト保險契約者トハ同一人ナル場合  
例ヘハ夫カ妻ノ生命ヲ保險ニ付シ自ラ保險金受取人ト爲レル場合ノ如シ
- (4) 保險契約者ト被保險者トハ異レルモ保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ被保險者ト同一人ナル場合  
例ヘハ親カ子ノ生命ヲ保險ニ付シ其子ヲ保險金受取人ト定メタル場合ノ如シ
- (5) 保險契約者被保險者及保險金額ヲ受取ルヘキ者カ共ニ異レル場合  
例ヘハ夫カ妻ノ生命ヲ保險ニ付シ其子ヲ保險金受取人ト定メタル場合ノ如シ

故ニ生命保險ニ於ケル被保險者ハ損害保險ニ於ケル被保險者トハ大ニ異レル所アルコトヲ知ルヘシ何トナレハ損害保險ニ於テハ被保險者ハ常ニ保險金額

ヲ受取ルヘキ者ナルニ反シ生命保險ニ於テハ被保險者ハ必スシモ常ニ保險金額ヲ受取ルヘキ者ニ非スレテ被保險者以外ニモ亦保險金額ヲ受取ルヘキ者存スレハナリ

舊商法第六百七十八條ニ在リテハ他人ノ生命ニ付キ財産上ノ利益ヲ有スルモノハ其他人ノ生命ヲ保險ニ付スルコトヲ得ト規定セシニ拘ハラヌ新商法カ生命保險契約ニ依リテ保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ被保險者其相續人又ハ親族ナルコトヲ要スト規定シタル理由ハ修正案理由書ノ示ス所ニ依レハ一方ニ於テハ生命保險中最モ多數ヲ占ムルモノハ自己ノ生死若クハ近親ノ生死ニ關シ契約スルモノニシテ財産上ノ利益ヲ有スル者ハ他人ノ生死ニ關シテ契約スルコトヲ得ルモノトセハ所謂保險詐欺ナルモノ頻繁ニ行ハル、弊アルハ必セリト云フニ在リ

第四、相手方又ハ第三者ノ生死ニ關シ金錢ヲ支拂フコトヲ約スルコトヲ要ス相手方又ハ第三者ハ保險ニ付セラル、身體ヲ有スル者ニシテ即チ被保險者ナ

(八)

(九)

リ被保險者ハ保險契約者タルコトアリ或ハ其他ノ者タルコトアリ又保險金額ヲ受取ルヘキ者タルコトアリ或ハ然ラサルコトアルハ前ニ述ヘタルカ如シ生命保險契約ハ必ス被保險者ノ生死ニ關シ金錢ヲ支拂フコトヲ約スルモノナラサルヘカラス損害保險ニ在リテハ被保險者ハ偶然ナル一定ノ事故ニ因リテ生スルコトアルヘキ損害ヲ填補スルモノナレトモ生命保險ニ在リテハ被保險者ハ被保險者ノ生死ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スルモノニアラス被保險者ノ保險金額ノ支拂カ只被保險者ノ生死ニ關スルモノニシテ即チ被保險者ノ生死ヲ條件又ハ期限ト爲セルニ外ナラサルモノトス

第二款 生命保險契約ノ無効

生命保險契約モ亦一般法律行爲ノ無効ニ關スル規定ニ從フヘキコトハ勿論ナルカ故ニ茲ニハ只生命保險契約ノ無効ニ關スル特別ノ規定ニ付テ説明ヲ爲スニ止ムヘシ

第一項 無効ノ事由

生命保險契約ニ特別ナル無効ノ事由ハ左ノ如シ

第一被保險事故ノ發生又ハ不發生ヲ知レルコト、

被保險事故ハ將來ニ於テ發生スルヤ否ヤノ不確實ナルコト又ハ其發生スルコトハ確實ナルモ其發生ノ時期ノ不確實ナルコトヲ要シ又其既ニ發生シタルモノナルカ或ハ將來發生セサルヘキモノナルトキハ契約締結ノ際當事者ノ一方又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ事故ノ既ニ生シタルモノナルコト又ハ將來生セサルヘキモノナルコトヲ知ラサルコトヲ要ス從テ事故ノ發生シタルモノナルコト又ハ將來發生セサルヘキモノナルコトヲ當事者ノ一方又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ニ於テ契約締結ノ際既ニ之ヲ知リタルモノナルトキハ保險契約ハ無効タリ(商四三三條三九七條)

第二重要ナル事實ノ不告又ハ虛陳、

保險契約ノ當時保險契約者又ハ被保險者カ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ重要

(一〇)

(一一)

ナル事實ヲ告ケス又ハ重要ナル事項ニ付キ不實ノ事ヲ告ケタルトキハ其契約ハ無効トス(商四二九條)蓋シ危險ハ契約當時ニ於ケル事實及ヒ過失ノ事實ヲ基礎トシテ豫測スルコトヲ得ルニ過キス而シテ此危險ヲ豫測スルニ適切ナル事實ハ保險契約者又ハ被保險者ノ智識ニ待タサルヘカラサルニ因リ從テ此所謂重要ナル事實トハ若シ保險者カ其事實ヲ知リタラシムルニハ全ク契約ヲ締結セザリシカ或ハ異リタル條件ノ下ニ於テ契約ヲ締結セシナラント客觀的ニ認メラレ得ヘキ事實ヲ指セルモノト解セサルヘカラス  
右ノ如ク重要ナル事實ノ不告又ハ虛陳ハ保險契約ヲ無効タラシムルモノナリト雖トモ然レトモ保險者カ其事實ヲ知リ又ハ之ヲ知ルコトヲ得ヘカリントキハ假令保險契約者又ハ被保險者カ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ重要ナル事實ヲ告ケス又ハ重要ナル事項ニ付キ不實ノ事ヲ告ケタリトスルモ保險契約ハ無効ニアラス(商四二九條但書)蓋シ保險者カ自ラ重要ナル事實ヲ知レルトキハ更ニ保險契約者又ハ被保險者ヨリ之ヲ告知スルコトナク或ハ不實ノ陳述アルモ保險者ハ危險ノ豫測ヲ誤ルコトナク又重要ナル事實ヲ知ルコトヲ得ヘカリシ

トキニ之ヲ知ラサルハ保險者ノ重大ナル過失ナレハ契約ヲ無効トシテ保險者ヲ保護スルノ必要ナキニ因ル

### 第二項 無効ノ結果

保險契約ノ全部又ハ一部カ無効ナル場合ニ於テ保險契約者及保險金額ヲ受取ルヘキ者カ善意ニシテ且重大ナル過失ナキトキハ保險者ニ對シテ保險料ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ヘシ商四三三條三九九條故ニ重要ナル事實ノ不告又ハ虛陳ニ基キ契約ノ無効ナル場合ニ於テハ保險者ニ對シテ保險料ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得サルヘシ何トナレハ重要ナル事實ノ不告又ハ虛陳ニ基キ契約ノ無効ナルハ保險契約者又ハ被保險者カ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ之ヲ告ケサルカ又ハ虛陳シタル場合ニ限レハナリ然レトモ此場合ニ不當利得ノ規定ノ適用ヲ妨ケサルヘシ

### 第三款 生命保險契約ノ効力

有効ニ成立シタル生命保險契約ハ種々ノ効力ヲ生ス

#### 第一項 保險證券ニ關スル權利義務

保險者ハ保險契約者ノ請求ニ因リ生命保險證券ヲ交付スルコトヲ要ス而シテ生命保險證券ニハ左ノ事項ヲ記載シ保險者之ニ署名スルコトヲ要スルモノトス(商四三〇條四三三條四〇三條)

- 一、保險契約ノ種類
- 二、保險ノ目的
- 三、保險者ノ負擔シタル危險
- 四、保險金額
- 五、保險料及ヒ其支拂ノ方法
- 六、保險期間ヲ定メタルトキハ其始期及ヒ終期
- 七、保險契約者ノ氏名又ハ商號
- 八、被保險者ノ氏名

九、保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ定メタルトキハ其者ノ氏名及ヒ其者ト被保險者トノ親族關係

十、保險契約ノ年月日

十一、保險證券ヲ作成シタル地

十二、保險證券ヲ作成シタル年月日

此他生命保險證券ニハ保險約款ノ全文ヲ記載シ又ハ之ヲ記載シタル書面ヲ添付スルコトヲ要ス(保險業法施行規則七條)保險約款ニハ普通保險約款ト特別保險約款トノ別アリ(保險業法第七條)依レハ普通保險約款ニ定ムヘキ事項ハ左ノ如シ

一、保險者カ保險金ノ支拂ヲ爲スヘキ事由

二、保險契約無効ノ原因

三、保險者カ其義務ヲ免カルヘキ事由

四、保險者ノ義務ノ範圍ヲ定ムル方法及ヒ其義務履行ノ時期

五、保險契約者又ハ被保險者カ其義務不履行ノ爲メニ受クヘキ損失

六、保險契約ノ全部又ハ一部ノ解除ノ原因及ヒ其解除ノ場合ニ於テ當事者ノ

(一四)

有スル權利義務

(一五)

七、保險契約者被保險者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ利益又ハ剩餘金ノ分配ニ與カル權利ノ有無及ヒ範圍

又生命保險業者ハ右普通約款ノ第六號及ヒ第七號ニ定メタル權利ノ範圍ニ付キ當事者ニ拂渡スヘキ金額其標準若クハ保險業法施行規則第十三號書式ニ準シ其金額ヲ推知スルニ足ルヘキ表ヲ保險證券ニ記載シ又ハ之ヲ記載シタル書面ヲ保險證券ニ添付スルコトヲ要シ又保險證券ニ對シ貸付ヲ爲スヘキコト又ハ將來ノ保險料ノ拂込免除ノ爲メニ保險金額ヲ減少スヘキコトヲ定メタルトキモ亦其貸付ヲ爲シ若クハ減少スヘキ金額其標準若クハ保險業法施行規則第十三號書式ニ準シ其金額ヲ推知スルニ足ルヘキ表ヲ保險證券ニ記載シ又ハ之ヲ記載シタル書面ヲ保險證券ニ添付スルコトヲ要ス(保險業法施行規則八條)

### 第二二項 保險料ニ關スル權利義務

第一、保險料ヲ受取ルヘキ者ハ保險者ニシテ保險料ヲ支拂フヘキ者ハ保險契約

者ナリ保險契約者ハ自己カ被保險者タル場合ハ勿論第三者カ被保險者若クハ保險金額ヲ受取ルヘキ者タル場合ニ於テモ亦保險料支拂ノ義務ヲ負フモノトス(商四二七條四三三條四〇一條)而シテ保險契約者カ未タ其全部ノ保險料ヲ支拂ハサル場合ニ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ保險者ハ相當ノ擔保ヲ供セシメ又ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ヘク(商四三三條四〇五條三項)又他人ノ爲メニ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ保險者ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ニ對シテ保險料ヲ請求スルコトヲ得ヘシ然レトモ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ其權利ヲ拋棄シタルトキハ之ニ對シテ保險料ヲ請求スルコトヲ得ス(商四三三條四〇六條)

第二、保險料ノ金額及ヒ其支拂ノ時期ハ共ニ保險契約ニ依リテ定マルモノトス然レトモ保險契約ノ當事者カ特別ノ危險ヲ斟酌シテ保險料ノ額ヲ定メタル場合ニ於テ保險期間中其危險カ消滅シタルトキハ保險契約者ハ將來ニ向テ保險料ノ減額ヲ請求スルコトヲ得ヘシ(商四三三條四〇〇條)保險金額ヲ受取ルヘキ者カ保險料ヲ支拂フヘキ場合ニ於テハ其者ヨリ右ノ減額請求ヲ爲シ得ヘキモノトス

(一六)

トス

(一)

第三、保險料支拂ノ義務ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅スルモノトス(商四三三條四一七條)

### 第三項 保險金額ニ關スル權利義務

第一、保險金額ヲ支拂フヘキ者ハ保險者ニシテ之ヲ受取ルヘキ者ハ被保險者其相續人又ハ親族ナリ然レトモ被保險者其相續人又ハ親族中ノ何人カ保險金額ヲ受取ルヘキモノナルヤハ意思表示ニ依リテ定マルコトアリ即チ(1)保險者及ヒ保險契約者間ノ契約ニ依リテ定マルコトアリ(2)保險契約者ノ意思表示ニ依リテ定マルコトアリ(3)保險金額ヲ受取ルヘキ者ト其他ノ者トノ契約ニ依リテ定マルコトアリ又或ハ法律ノ規定ニ依リテ定マルコトアリ

(一) 意思表示ニ依リテ定マル場合

(イ) 保險者及ヒ保險契約者間ノ契約ニ依リテ定マル場合

保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ之ヲ生命保險契約ニテ定マルノ必要ナキモノ



ナリト雖トモ保險者及ヒ保險契約者ハ生命保險契約ニ依リテ保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ定ムルコトヲ得ヘシ此場合ニ於テハ其者ノ氏名及ヒ其者ト被保險者トノ親族關係ヲ生命保險證券ニ記載スルコトヲ要ス(商四三〇條)

(ロ) 保險契約者ノ意思表示ニ依リテ定マル場合

保險金額ヲ受取ルヘキ者カ死亡シタルトキ又ハ被保險者ト保險金額ヲ受取ルヘキ者トノ親族關係カ止ミタルトキハ保險契約者ハ更ニ保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ定ムルコトヲ得ヘシ而シテ此指定ハ保險者ト保險契約者トノ契約ニ依ルニ非スシテ保險者ニ對スル保險契約者ノ單獨ノ意思表示ニ依リテ之ヲ爲スモノナリ然レトモ此場合ニ於テ保險契約者ハ右ノ指定ヲ爲サスシテ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ヘシ(商四二八條三項)

(ハ) 保險金額ヲ受取ルヘキ者ト其他ノ者トノ契約ニ依リテ定マル場合

保險金額ヲ受取ルヘキ者ト定メラレタル者ハ保險契約ニ因リテ生シタル

(三)

(三)

權利ヲ被保險者ノ親族ニ對シテ讓渡スコトヲ得ヘシ故ニ其讓受ヲ爲シタル被保險者ノ親族ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ト爲レルモノトス(商四二八條二項)

(二) 法律ノ規定ニ依リテ定マル場合

保險金額ヲ受取ルヘキ者カ死亡シタルトキ又ハ被保險者ト保險金額ヲ受取ルヘキ者トノ親族關係カ止ミタルトキ保險契約者カ更ニ保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ定メ又ハ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲクシテ死亡シタルトキハ被保險者ヲ以テ保險金額ヲ受取ルヘキ者トス(商四二八條四項)

第二、保險金額ハ保險契約ニ依リテ定マルモノトス然レトモ其支拂ノ時期ハ或ハ之ヲ保險契約ニ依リテ定ムルコトアリ或ハ之ヲ定メサルコトアリ之ヲ定メタルトキハ其時期ノ到來シタルトキニ之ヲ支拂フヘシ其定メナキトキハ保險金額支拂義務ノ發生シタルトキニ之ヲ支拂フヘキモノトス

第三、保險金額支拂義務ハ生命保險契約ニ停止條件ヲ附シタル場合以外ニ於テ

ハ契約成立ノ時ニ發生シ停止條件ヲ附シタル場合ニ於テハ其條件ノ成就シタルトキ又ハ當事者ノ意思表示ヲ以テ定メタル時ニ遡リテ發生スルモノニシテ其條件ノ成就前ニハ只停止條件附保險金額支拂義務發生セルノミ即チ保險契約者カ保險金額ヲ受取ルヘキ者ナルトキハ保險契約成立ノ時ヨリ又第三者カ保險金額ヲ受取ルヘキ者ナルトキハ第三者カ保險者ニ對シ契約ノ利益ヲ享受スルノ意思表示ヲ爲シタル時ヨリ停止條件附保險金支拂義務發生スルニ過キサルモノトス

被保險者ノ死亡ヲ以テ停止條件ト爲シタル場合ニ於テ(1)被保險者カ戰爭其他ノ變亂ニ因リテ死亡シタルトキ(商四三三條三九五條)(2)被保險者カ自殺決闘其他ノ犯罪又ハ死刑ノ執行ニ因リテ死亡シタルトキ(商四三一條一項一號)(3)保險金額ヲ受取ルヘキ者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ(商四三一條一項二號)ハ保險者ハ保險金額ヲ支拂フ義務ナキモノトス然レトモ(1)特約アルトキハ戰爭其他ノ變亂ニ因リテ死亡セル場合ニ於テモ保險者ハ保險金額ノ支拂ヲ爲サルヘカラス(商四三三條三九五條亦(2)保險金額ヲ受取ルヘキ者カ故意ニ

(四)

(五)

テ被保險者ヲ死ニ致シタルトキト雖トモ其者カ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ場合ニ於テハ保險者ハ其殘額ヲ支拂フ責ヲ免カル、コトヲ得ス(商四三一條一項二號)

第四、保險金額支拂ノ義務ハ二年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅スルモノトス(商四三三條四一七條)

#### 第四項 積立金ニ關スル權利義務

第一、商法ニハ被保險者ノ爲メニ積立ヲタル金額ナル語ヲ用ヒタリト雖トモ(四二八條三項四三一條二項四三三條二項)其積立義務ニ付テハ別ニ何等ノ規定ヲ設ケス只保險業法及同法施行規則ニ依リ保險業者ハ責任準備金トシテ保險料積立金及ヒ未經過保險料ヲ積立ツルコトヲ要スルノミ(保險業法九五條同法施行規則一五條乃至一七條)茲ニ所謂積立金トハ保險業者カ右ノ規定ニ基キテ積金ヲタル金額ヲ指スモノニシテ商法ニ被保險者ノ爲メニ積立ヲタル金額ト謂ヘルモ亦之ヲ意味スルニ外ナラサルモノトス

第二、積立金ハ之ヲ利殖シテ保險金額ノ支拂ニ充ツヘキモノナレハ保險金額ノ支拂ヲ爲スコトヲ要セサル場合ニハ保險者ハ之ヲ拂戻スヲ至當トス蓋シ保險金額ノ支拂ヲ爲スコトヲ要セサル場合ナルニ拘ハラズ積立金ノ拂戻ヲ爲スコトヲ要セサルモノトセハ保險者ハ爲メニ不當ノ利得ヲ爲スノ不公平ナル結果ヲ生スヘケレハナリ

積立金ノ拂戻ヲ爲サハルヘカラサル場合ハ左ノ如シ

- (一) 保險金額ヲ受取ルヘキ者カ死亡シタルトキ又ハ被保險者ト保險金額ヲ受取ルヘキ者トノ親族關係カ止ミタルトキ保險契約者カ更ニ保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ定メスシテ積立金ノ拂戻ヲ請求セル場合(商四二八條三項)
- (二) 被保險者カ自殺決闘其他ノ犯罪又ハ死刑ノ執行ニ因リテ死亡シタル場合(商四三一條二項)
- (三) 戰爭其他ノ變亂ニ因リテ死亡シタルトキニ於テ特約ナク從テ保險者カ保險金額ヲ支拂フコトヲ要セサル場合(商四三三條二項三九五條)
- (四) 保險者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキニ保險契約者カ契約ノ解除ヲ爲シ從

(六)

(七)

テ保險金額ノ支拂ヲ爲スコトヲ要セサル場合(商四三三條二項四〇五條一項)

(五) 未タ保險料ノ全部ヲ支拂ハサル保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキニ保險者カ契約ノ解除ヲ爲シ從テ保險金額ノ支拂ヲ爲スコトヲ要セサル場合(商四三三條二項四〇五條三項)

(六) 保險者ノ責任カ始マル前ニ於テ保險契約者カ契約ノ全部又ハ一部ノ解除ヲ爲シ從テ保險金額ヲ支拂フコトヲ要セサル場合(商四三三條二項四〇七條)

(七) 保險期間中危險カ保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタル爲メ保險契約カ將來ニ向テ其効力ヲ失ヒ從テ保險者カ保險金額ヲ支拂フコトヲ要セサル場合(商四三三條二項四一〇條)

(八) 保險期間中危險カ保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタルトキ保險者カ契約ノ解

除テ爲シ從テ保險金額ヲ支拂フコトヲ要セサル場合商四三三條二項四一  
一條一項)

(九) 保險期間中危險カ保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ責ニ歸スヘ  
カラサル事由ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタル場合ニ於テ保險契約者  
又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ其危險ノ變更又ハ増加ヲ知リタル後遲滯  
ナク之ヲ保險者ニ通知スルコトヲ怠リタル爲メ保險者カ危險ノ變更又ハ  
増加ノ時ヨリ保險契約ノ効力ヲ失ヒタルモノト看做シ從テ保險金額ヲ支  
拂フコトヲ要セサル場合商四三三條二項四一一條二項)

第三、故ニ積立金ヲ拂戻スヘキ者ハ保險者ニシテ其拂戻ヲ受クヘキ者ハ保險契  
約者ナリ然レトモ保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルカ爲メ保險金額ヲ受取  
ルヘキ者ヨリ保險料ヲ支拂ヒタル場合ニ於テハ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ其  
支拂ヒタル保險料ヨリ積立テタル金額ノ拂戻ヲ受クヘキモノトス

### 第五項 擔保ニ關スル權利義務

保險者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ保險契約者ハ相當ノ保擔ヲ供セシムルコ  
トヲ得ヘク保險者ハ相當ノ擔保ヲ供スルノ義務アリ又保險契約者カ破産ノ宣告  
ヲ受ケ且未タ保險料ノ全部ヲ支拂ハサルトキハ保險者ハ相當ノ擔保ヲ供セシム  
ルコトヲ得ヘク保險契約者ハ相當ノ擔保ヲ供スルノ義務アリ此ノ擔保要求ハ保  
險者又ハ保險契約者ノ權利ニシテ義務ニアラス保險者又ハ保險契約者ハ擔保ノ  
要求ヲ爲サスシテ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得(商四三三條四〇五條)ヘキコトハ損  
害保險ニ於ケルト異ルコトナシ

又生命保險契約ニ於テハ損害保險契約ニ於ケルカ如ク他人ノ爲メニ保險契約ヲ  
爲シタル場合ニ於テ保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ保險者ハ保險金  
額ヲ受取ルヘキ者ニ對シテ保險料ヲ請求スルコトヲ得ヘシト雖トモ此ノ保險料  
支拂ノ請求ヲ受ケタル所ノ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ其權利ヲ拋棄シタルトキ  
ハ其請求ヲ爲スコト能ハサルモノナルカ故ニ商四三三條四〇六條此ノ保險料支  
拂ノ請求ヲ受ケタル所ノ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ  
ハ保險者ハ其未タ支拂ヲ受ケサル保險料ニ付キ相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ

得サルヘシ河トナレハ其保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ擔保要求アリタルトキハ自己ノ權利ヲ拋棄シテ其要求ヲ免カル、コトヲ得ヘケレハナリ

### 第六項 通知ニ關スル權利義務

#### 第一、危險ノ變更又ハ増加ノ通知

保險期間中危險カ保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタルトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲シ得ヘキモノナルカ故ニ其解除者ノ行使ヲ容易ナラシムルカ爲メ保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ危險ノ著シク變更又ハ増加シタルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク之ヲ保險者ニ通知スルノ義務アリ其通知アリタルトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ヘク若シ其通知ノ怠アリシトキハ保險者ハ危險ノ變更又ハ増加ノ時ヨリ保險契約カ其効力ヲ失ヒタルモノト看做スコトヲ得ヘシ然レトモ保險者カ右ノ通知ヲ受ケ又ハ危險ノ變更若クハ増加ヲ知リタル後遲滯ナク契約ノ解除ヲ爲サ、ルトキハ其契約ヲ承認シタルモノト看

(二)

(三)

做スモノナルカ故ニ假令保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ危險ノ變更又ハ増加ノ通知ヲ怠リタルトキト雖トモ保險者ハ危險ノ變更又ハ増加ノ時ヨリ保險契約カ其効力ヲ失ヒタルモノト看做スコトヲ得サルナリ從テ保險契約者カ他人ノ爲メニ保險契約ヲ爲シタル場合ニ保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ一方カ危險ノ變更又ハ増加ノ通知ヲ爲シタルトキハ他ノ一方ハ更ニ之ヲ通知スルノ義務ナク亦保險者カ保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ト同時若クハ之ヨリ以前ニ危險ノ變更又ハ増加シタルコトヲ知リタルトキハ保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ其變更又ハ増加ノ通知ヲ爲スコトヲ要セサルモノトス(商四三三條四一條)

#### 第二、被保險者ノ死亡ノ通知

保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ被保險者ノ死亡シタルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス(商四三二條)此場合ニ於テモ保險者カ保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ト同時若クハ之レヨリ以前ニ被保險者ノ死亡セシコトヲ知レルトキハ保險契約者又ハ保險

金額ヲ受取ルヘキ者ニ通知ノ義務ナク又保險契約者カ他人ノ爲メニ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ一方カ其死亡ノ通知ヲ爲シタルトキハ他ノ一方ハ更ニ之ヲ通知スルコトヲ要セサルモノナルヘシ

#### 第四款 生命保險契約ノ失効

生命保險契約ハ第一危險ノ著シキ變更又ハ増加第二通知ノ懈怠ニ依リテ其効力ヲ失フモノトス

第一、危險ノ著シキ變更又ハ増加

保險期間中危險カ保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタルトキハ保險契約ハ其効力ヲ失フモノトス(商四三三條四一〇條)

第二、通知ノ懈怠

保險期間中危險カ保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ責ニ歸スヘカラ

サル事由ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタル場合ニ於テ保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ危險ノ變更又ハ増加シタルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク之ヲ保險者ニ通知スルコトヲ要ス若シ其通知ヲ怠リタルトキハ保險法ハ危險ノ變更又ハ増加ノ時ヨリ保險契約カ其効力ヲ失ヒタルモノト看做スコトヲ得ヘシ(商四三三條四一一條二項)故ニ通知ノ懈怠ハ第一ノ著シキ危險ノ變更又ハ増加ノ場合ノ如ク當然契約ノ効力ヲ失ハシムルモノニアラスシテ唯之ニ依リ保險者ヲシテ契約カ効力ヲ失ヒタルモノト看做スコトヲ得セシムルニ過キス保險者カ其効力ヲ失ヒタルモノト看做サ、ルトキハ保險契約ハ尙有効ナリ

保險者ハ左ノ如ク通知ノ懈怠アリタルトキハ契約ハ其効力ヲ失ヒタルモノト看做スコトヲ得ヘキモノナリト雖トモ保險者カ危險ノ變更又ハ増加ノ通知ヲ受ケ又ハ之ヲ知リタル後遲滯ナク契約ノ解除ヲ爲サ、ルトキハ其契約ヲ承認シタルモノト看做スヘキモノ(商四三三條四一一條三項)ナルカ故ニ假令保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ危險ノ變更又ハ増加ノ通知ヲ怠ルモ保險

者ニ於テ保險契約者又ハ保險額ヲ受取ルヘキ者ト同時若クハ之レヨリ以前ニ其變更又ハ増加アリシコトヲ知リナカシテ遲滞ナク契約ノ解除ヲ爲サ、ル場合ナルカ又保險契約者カ他人ノ爲メニ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ保險者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ一方カ危險ノ變更又ハ増加ノ通知ヲ爲シタルトキ他ノ一方カ更ニ通知ヲ爲サ、リシ場合ニ於テハ契約ハ其効力ヲ失ヒタルモノト看做サル、コトナキモノトス

### 第五款 生命保險契約ノ解除

生命保險契約ノ解除ニ關シテ特別ニ説明スヘキハ左ノ諸點ニ過キス茲ニモ亦民法契約ノ解除ニ關スル規定ノ適用アルコト勿論ナリ

#### 第一、解除權ノ發生

##### (一) 保險者ノ解除權ノ發生スル場合

- (1) 未タ保險料ノ全部ヲ支拂ハサル保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合(商四三三條四〇五條三項)

(六)

(七)

- (2) 保險期間中危險カ保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタル場合(商四三三條四一一條一項)

##### (二) 保險契約者ノ解除權ノ發生スル場合

- (1) 保險者カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合(商四三三條四〇五條一項)
- (2) 保險者ノ責任カ未タ始マラサル場合(商四三三條四〇七條)

#### 第二、解除權ノ行使

- (一) 民法第五百四十四條ニ依レハ保險者又ハ保險契約者カ數人アル場合ニ於テハ其全員共同ニテ解除權ヲ行使シ又ハ全員ニ對シテ解除權ヲ行使スルコトヲ要ス從テ契約ハ一部ニ付キ解除ヲ爲スコトヲ得サルモノナレトモ商法第四百三十三條第四百七條ニ依レハ保險者ノ責任ノ未タ始マラサル場合ニ於テハ保險契約者ハ契約ノ全部又ハ一部ノ解除ヲ爲スコトヲ得ヘキモノトス
- (二) 保險者カ解除權ヲ行使スル場合ハ其保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ナルト危險ノ變更又ハ増加シタル場合ナルトヲ問ハス其解除ハ將來ニ向

テノミ其効力ヲ生スルモノトス(商四三三條四〇五條四一一條)從テ保險者ハ一旦受取リタル保險料及ヒ受領ノ時以後ノ利息ヲ返還スルコトヲ要セス保險金ヲ受取ルヘキ者モ亦其一旦受取リタル保險金及ヒ受領ノ時以後ノ利息ヲ返還スルコトヲ要セス然レトモ此等ノ場合ニ於テ保險者カ保險金額ヲ支拂フコトヲ要セザルトキハ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ拂戻スコトヲ要スルモノトス(商四三三條二項)

保險者ノ責任カ未ダ始マラサル場合ニ於ケル保險契約者ノ解除權ノ行使ノ効力ニ付テハ何等ノ規定ナキヲ以テ民法第五百四十五條ノ規定ニ從ヒ保險者及ヒ保險契約者ハ各其相手方ヲ原狀ニ復セシムルノ義務ヲ負ヒ其返還スヘキ金錢ニハ其受領ノ時以後ニ於ケル利息ヲ附スルコトヲ要スルモノ、如シト雖トモ商法第四百三十三條第二項ニ依レハ保險者ノ責任カ始マル以前ニ契約カ解除セラレ保險者カ保險金額ヲ支拂フコトヲ要セザルトキハ被保險者ノ爲メ積立テタル金額ヲ拂戻スコトヲ要スルモノナルカ故ニ其積立金ノ返還ヲ爲ス以外ニ於テ保險者ハ解除ノ爲メニ何等ノ義務ヲ負フコトナキ

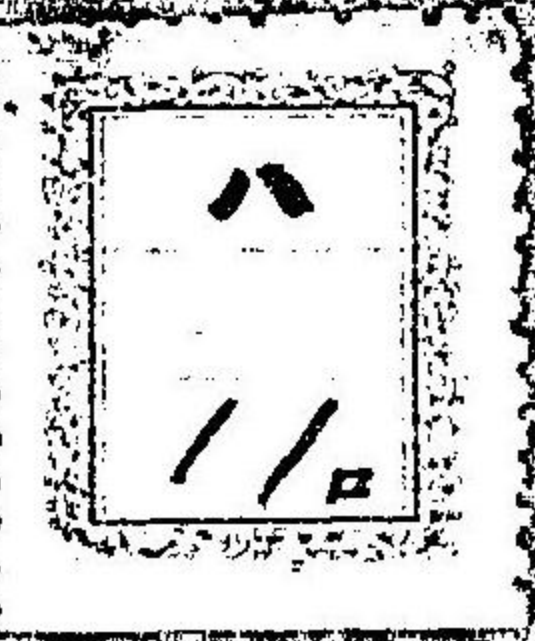
モノト解セザルヘカラス

第三、解除權ノ消滅

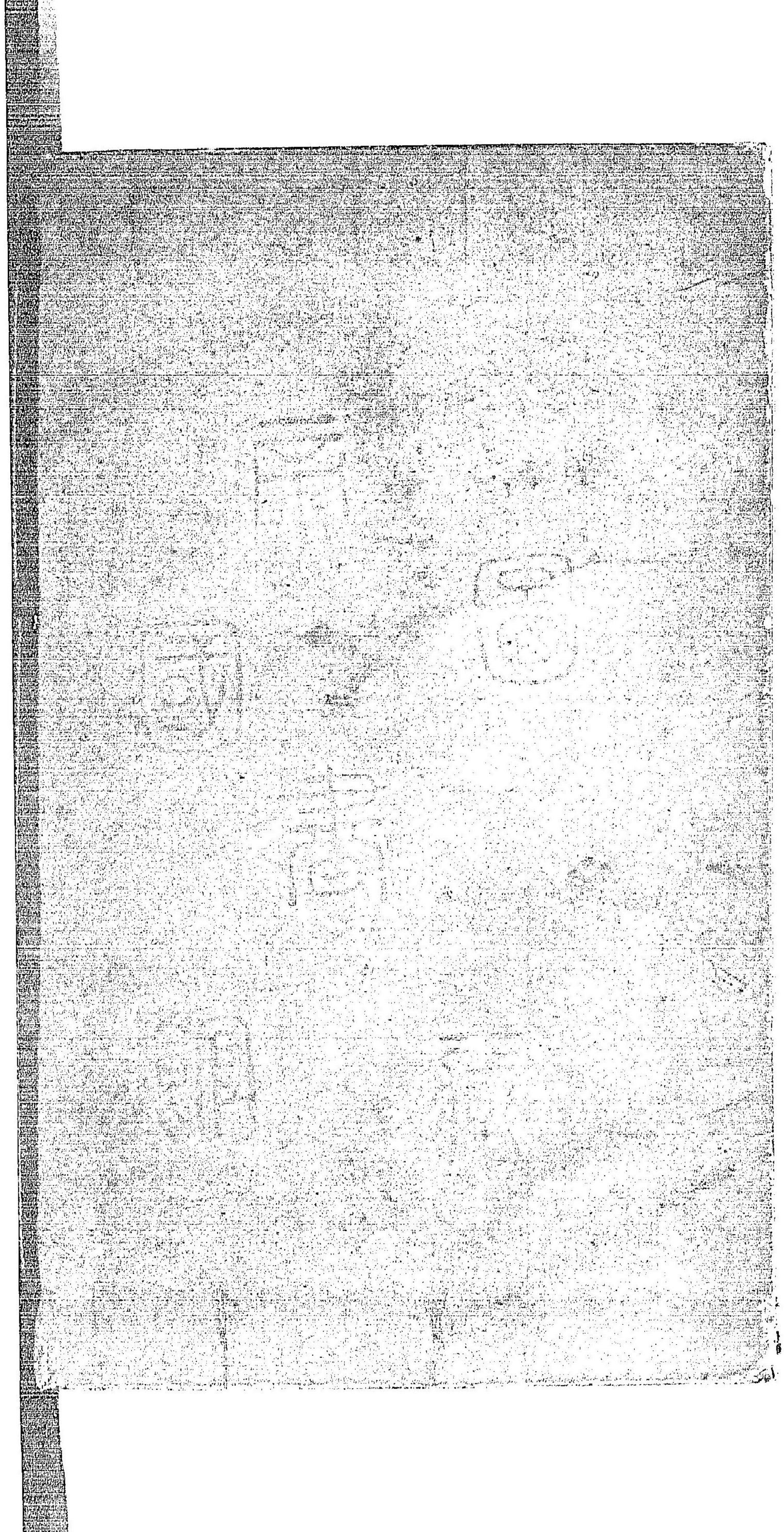
解除權ハ民法第五百四十七條ノ規定ニ依リテ消滅スルハ勿論ナルモ保險期間中保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ責ニ歸スベカラサル事由ニ因リテ危險カ著シク變更又ハ増加シタル爲メニ發生シタル保險者ノ解除權ハ保險者カ保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ通知ヲ受ケタルカ又ハ其他危險ノ變更又ハ増加アリタルコトヲ知リタル後遲滯ナク之ヲ行使スルコトヲ怠リタル爲メ保險者ニ於テ其契約ヲ承認シタルモノト看做サレ消滅スルモノトス(商四三三條四一一條)

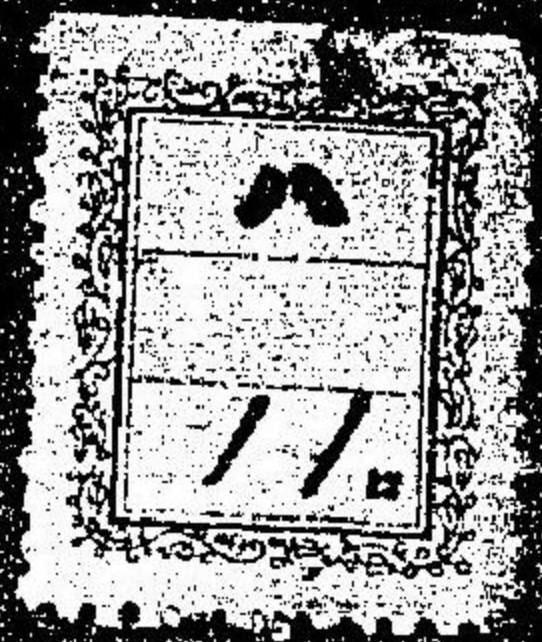
保險法 終





195  
1/21





京都法政学校  
第二期卒業講義録

保険法

035435-000-1

八-11口

保険法

成田 惟忠/述

M37?

BBO-0635

